

消防試験研究センターだより vol.386

Voice...7

2021



top

一筋縄ではいかない防災情報

こだま

埼玉県立いずみ高等学校における危険物取扱者試験への取り組み

支部の広場

兵庫県支部からお届け



①



②



③



④



表紙によせて

有馬温泉 / 表紙上段

有馬天神社の境内で湧き上がる「金泉」の温泉源。泉質は含鉄ナトリウム塩化物強塩高温泉で、温泉水は本来透明ですが、空気に触れ酸化すると茶色に変色します。日本三古湯、日本三名泉の一つに挙げられ、情緒あふれる温泉街が広がっています。

(写真提供：一般財団法人神戸観光局)

姫路城 / 表紙下段

奈良の法隆寺とともに日本初のユネスコの世界文化遺産に登録された姫路城。「白鷺城」の愛称で親しまれる姫路城は、白漆喰の城壁と5層7階の大天守と3つの小天守が渡櫓で結ばれた連立式天守が特徴の美しい城です。

①城崎温泉

円山川の支流、大谿川沿いに広がる温泉街。1,400年もの歴史を誇り、「鴻の湯」「まんだら湯」など7カ所ある外湯(共同浴場)巡りも魅力のひとつです。浴衣に下駄履きで、川沿いの柳が風にそよぐ温泉街を散策する様は風情があります。

②竹田城と雲海

「天空の城」「日本のマチュピチュ」などの異名を持つ竹田城と雲海。自然石をほとんど加工せずに積み上げた、野面積みの石垣がほぼそのままの状態に残っており、現存する石垣遺構としては日本屈指の規模です。

③デカンショ祭

丹波篠山市で毎年8月に行われるお祭り「デカンショ祭」は全国に誇る民謡「デカンショ節」の総踊りを中心としたお祭。2015年には「丹波篠山 デカンショ節 一民謡に乗せて歌い継ぐふるさとの記憶」が「日本遺産」に認定されました。

④淡路夢舞台

世界的建築家の安藤忠雄さんが設計した施設。国際会議場やリゾートホテル、野外劇場、植物園等の施設が点在する敷地内は、百段苑をはじめ複数の個性的な庭園が、遊歩道やデッキなどで結ばれ、全体が回遊式庭園の構造となっています。

002

top

一筋縄ではいかない防災情報
横浜国立大学 リスク共生社会創造センター
客員教授
座間 信作

004

こだま

埼玉県立いずみ高等学校における危険物取扱者試験への取り組み

006

業務情報

令和2年度事業報告及び決算
令和2年度の試験実施結果について
令和2年度の免状作成等の状況について

026

支部の広場

兵庫県支部からお届け

028

topic

合格体験記
松岡 英雲
宮崎県立都城工業高等学校
化学工業科3年

030

消防庁の通知・通達等

032

業務報告

4・5月の試験実施結果・免状作成状況

7 Voice...

消防試験研究センターだより

2021 July vol.386

一筋縄ではいかない防災情報

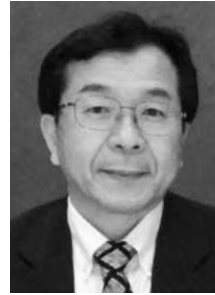
1

2011年東北地方太平洋沖地震から10年が過ぎた。この地震は地震規模M9.0という我が国では未曾有の巨大地震であった。震源域である東北地方東方沖は、世界で最も研究がなされている場とされ、この地震の前には、1978年宮城県沖地震（M7.4）に匹敵する地震が今後30年で99%の確率で発生するとされ注意喚起がなされていた。しかし多くの地震学者が想定していなかった規模の地震が発生し、主に津波によって甚大な被害が発生した。科学が現実には追いつかない中での、研究成果の公表、地震調査研究推進本部や気象庁など公的機関の見解、あるいは観測データに基づく警報の限界がもたらす問題が人的被害に結び付いたという指摘は否めない。ここでは、このような不確かな情報の発信側と住民等受信側の対応について、幾つかの事例を踏まえ考えてみたい。

2

津波警報については、1983年日本海中部地震（M7.7）で津波警報発令より前に津波が襲来したことが津波による犠牲者を生んだ一因とされ、警報発令時間の短縮が図られてきた。最近では3分以内に津波警報が発出できる仕組みとなっていたが、東北地方太平洋沖地震では津波警報の第1報での津波高さを過小評価した。この反省から、地震発生後3分程度以内の発表を目指す従来方針を堅持しつつ、津波の波源の推定に不確さがある場合は、安全側の津波警報を発表し、その後、得られる地震・津波データや解析結果に基づき、より確度の高い警報に切り替えることとした。加えて、防災科学技術研究所が運用しているDONETやS-net等海域の観測網が整備されたことから、より迅速かつ高精度な津波予測が可能となり、気象庁発表の津波警報、緊急地震速報に利用されている。

しかし、これら情報を受け取る地域住民が、いざという時にしっかりと避難行動に移せるかが問われる。高精度であるが故に過度に信頼して、ぎりぎり避難の必要な



座間 信作 ざま しんさく

横浜国立大学
リスク共生社会創造センター
客員教授

しと判断するという恐れも懸念される。

3

2009年イタリア中部ラクイラの地震（M6.3）では、死者約300名、全半壊約20,000棟という被害が生じた。この地震の前に活発な群発地震が発生して住民が不安である中、地元の研究者がラドンの観測に基づいた個人判断による地震予知情報を一般市民に向けて直接に発し、更に混乱を引き起こした。これに対し、イタリア政府大災害委員会（6名の地震学者、地震工学者と1名の政府関係者）が「群発地震がエネルギーを解放したため大地震が起きにくくなっている」という安全宣言ともとれる、しかし科学的には全く誤った情報をメディアに流した。ラクイラの検察当局はこのことが被害拡大につながったとして過失致死の容疑で起訴、7人全員に6年の実刑判決が出された（その後の上告審で、研究者は無罪、行政官のみ執行猶予付き禁錮2年で確定）。

この“事件”は事前の観測された現象に基づく将来の大地震発生可能性の評価について、どのように社会に発信するかが問われたものとみることができ、極めて重要で難しい問題をつきつけた。特に地震関係研究者が一時的にも罪に問われるという事態となったことは、我が国の地震学会、地震工学会にも大きな衝撃を与えた。これを受けて、国際地震学及び地球内部物理学協会総会で「地震の発生時期や場所・規模を狭く特定する決定論的な地震発生予測は一般には困難であり、発生予測には確率が用いられるべきである」という見解をまとめ、現在の地震学界における国際的な共通認識とすることと



された。我が国では、この確率論的な予測は地震本部での地震発生の長期評価に用いられている。ただし、個々の地震に係る情報の不足等のため、その確率算定根拠が科学的に十分納得できるものでは必ずしもないことに注意したい。

毎日の天気と異なり、地震の場合には先ずもって経験(観測)が少ないこと、対応にコストや時間がかかること、甚大な被害につながりかねないことなど、天気予報の降水確率を聞いて傘を持つか持たないかの判断に利用する場合との比較からすれば、地震発生の確率論的な予測情報は、発信側、受信側双方にとっても随分と難しい。

4

「平成30年7月豪雨」では、記録的豪雨により広島、岡山県などの広域に亘り河川の氾濫や浸水、土砂災害が発生し、死者・行方不明200名を超える大災害となった。水害において、土石流、斜面崩壊などは事象が高速のため避難は簡単ではないので、相当前からリスク回避の行動が望まれる。また川の氾濫や決壊による洪水被害については、主には河川近くの流れの速い地域に被害が集中する傾向があることから、そのようなリスクを認識して対応する必要がある。

気象災害に関する行政やマスコミからの情報提供は、何度かの災害経験を受け工夫がなされてきている。例えば、指定河川洪水予報には、氾濫注意、氾濫警戒、氾濫危険、氾濫発生情報があり、それぞれの水位や流量によって発表基準を定めるとともに、自治体や住民に求める行動内容も併せて示している。自治体は、これらの情報に基づき、「避難準備情報」、「避難勧告」、「避難指示」を順次発令することとなる^{注1)}。

一方で、この意味が十分に住民に理解されていない、あるいは切迫度を持ち避難行動を喚起するまでに繋がらないことも指摘されている。例えば、我々の住民意識調査では^{注2)}、避難勧告、避難指示の区別(緊迫度)の違いが理解されず、ほとんどの被験者が次に「避難命令」があるものと認識していることが分かっている。すなわち、避難指示の段階ではまだ大丈夫という認識であると

捉えることができ、極めて危険なことである。そもそも「避難命令」という制度は存在しないのであるが、住民意識がそうであるならばいっそのこと「避難命令」という表現を入れ込む方が、避難行動喚起のために有効ではと個人的には思う。

しかし「避難命令」は強制であり、住民にとっては押し付けられ感があるであろう。その結果、事態が空振りに終わった時には何らかのマイナスの感情を情報提供側に対して持ち、将来の災害対応に影響を与えかねない。一方、人間が持つ多数派同調バイアスを利用した表現の工夫も試みている。これは悪く働くと2003年韓国での地下鉄火災のように、煙が車内に充満する事態になっても周りの乗客が避難せずにいることで安心し、それに合わせてしまうようなことが起こる。我々の「避難所に避難する人が徐々に増えてきています」という広報を流して被験者の住民に聞いてもらう実験では、よく印象に残ったとの意見が多く、避難行動を喚起する動機付けになる可能性がある。このような本来人間が持つ特性を考慮して自然に避難を促す工夫も望まれ、最近よく話題となる行動経済学の考え方も参考になろう。

5

過去の災害の教訓を踏まえて、様々な研究や技術開発、それに基づく情報提供等がなされてきているが、物事には良かれと考えられ策定されたものが、却って悪さをするといった2面性、光と影がある。従って、物事を幅広く深く総合的に捉える態度が重要となる。そういったことの一面を安全、安心に深く関わる防災情報を例として掲げた。安心、安全の更なる向上にむけて、本稿がそれぞれの職責において考えるきっかけとなれば幸いである。

注1) 2021年4月28日に改正された災害対策基本法では、避難勧告を廃止し、避難指示に一本化された。

注2) 河関大祐、座間信作、高梨健一：水害時の住民向け防災広報に関する研究、消防研究所報告、113、2012



埼玉県立いずみ高等学校における 危険物取扱者試験への取り組み

林 信一 (はやし しんいち)
埼玉県立いずみ高等学校
環境サイエンス科 実習教諭

1 埼玉県立いずみ高等学校の紹介

いずみ高校は、生物と環境に関することを学ぶ専門高校です。入学時には生物系・環境系2つの学系に分かれますが、2年次からは6つの学科(生物生産・生物サイエンス・生物資源化学・環境デザイン・環境サイエンス・環境建設)の中から興味や関心のある学科に所属して学ぶことが出来ます。

本校の目指す学校像は「地球環境のよき理解者としての、グローバルな視点をもった、品格あるスペシャリストを育成する学び舎」です。そして、以下の「3つの重点目標(中期目標)」を掲げ、生物・環境総合高校として、地域や社会の期待に応えるよう様々な教育を実践しています。

- ① 普通・専門学科それぞれの授業の質を高める(学力向上)とともに、キャリア教育を充実させ、将来にわたって学び続ける意欲をもった生徒を育てる。
- ② 「時を守り、場を清め、礼を尽くす」を実践し、プロフェッショナル人として、規範意識を高めるとともに、他人を思いやる心等、豊かな心を育成する。
- ③ 教育内容や特色・強みを地域社会に発信し、地域との協働によって開かれた学校づくり・教育活動を推進する。

(1) 学校の概要

埼玉県立いずみ高等学校は、昭和37年創立の旧与野農工高校を平成11年に改組し、「生物・環境系総合高校」として新たなコンセプトのもとで誕生した学校です。

さいたま市のほぼ中央に位置しながらも、その校地面積は約72,000㎡(東京ドームの約1.5倍)の広さを誇り、緑豊かなキャンパスは戦前から戦後にかけて存在した農業技術者育成のための「農民講道館」から受け継いだものです。

「いずみ高校『Step Forward(さらなる前進)』」を合言葉に、グローバル社会を学ぶ海外研修や地域との連携を深めるための「ホームカミング」等、生徒たちのさらなる成長・飛躍を目指して、教職員一丸となって様々な教育活動を展開しています。

(2) 学科紹介

○ 生物生産科

野菜や草花の栽培、水生生物の飼育管理実習や植物バイオテクノロジーの実験などを中心に学ぶ学科

です。

○ 生物サイエンス科

生命科学や生態学などの学習をとおして、生物を細胞レベルから生態系レベルまで広く捉えながら生命現象を学ぶ学科です。

○ 生物資源化学科

「食品」や「微生物」を生物資源と捉え、その仕組みや利用方法などについて学び、「食」の分野に携わるスペシャリストの育成を目指す学科です。

○ 環境デザイン科

樹木や草花・竹・石その他の自然材料の持つ特性を効果的に使い、快適な生活環境を創造する知識と技術を学ぶ学科です。

○ 環境サイエンス科

エネルギー循環型の社会を目標に「アカデミックに」環境を学ぶ学科です。幅広く化学技術を学び進学スーパー専門職を目指している学科です。

○ 環境建設科

私たちの生活を支えている社会基盤(道路・トンネル・ダムなど)を作るために必要な知識を学ぶ学科です。

(3) いずみ高校を代表する学び

～学科間の連携によるカーボンニュートラルへの挑戦～
本校では、生物系・環境系、学科の枠を越えて、カーボンニュートラルの実践を行っています。具体的には、生物系の生徒たちが育てたヒマワリの種の搾油を行い、環境系学科(環境サイエンス)の生徒たちがバイオマス燃料(BDF: バイオ・ディーゼル・フュエル)を精製しています。

この燃料を用いて発電した電力は、中庭のイルミネーションを美しくライトアップし、生徒・保護者はもちろん、地域住民・卒業生たちの目を楽しませています。(写真1)

バイオマス燃料の精製には、危険物取扱者が必要とされている様々な知識が役立っています。

2 本校における資格取得への取組状況

(1) 取得実績のある主な資格及び検定

一級ボイラー技士、一般毒物劇物取扱者、危険物取扱者(乙種第1類～第6類、丙種)、乙類、丙種、情報技



写真1：イルミネーション

術検定3級、計算技術検定（2級～4級）、トレース検定（3級～4級）、ビジネス実務マナー検定（3級）、とび検定、レタリング検定（3級～4級）、農業技術検定3級、造園技術検定（2級～3級）、フラワー装飾技能検定3級、大型特殊免許（農業用）、土木施工管理技術検定2級、ホームページ作成検定、パソコン利用技術検定（2級～3級）、ビジネス文書実務検定（2級～4級）、ITパスポート

(2) 朝勉強会

ア 目的

本校では、農業・工業を中心とする様々な資格を取得する機会を提供しており、生徒たちの進路目標の実現や教科指導の達成度の確認のために資格取得に向けた指導を組織的に行っています。朝勉強会では、資格取得や各教科の学習、受験勉強などを行い、専門的な学習に興味・関心を持たせるとともに、仲間と切磋琢磨しながら、自学自習ができる生徒の育成を図っています。

イ 取組状況

1年生の場合、入学式の翌日から、7月下旬に行われる危険物取扱者試験を目標に、午前7時30分から朝勉強会に取り組みさせています。試験は年数回あるため、いつでも挑戦できるように、毎日欠かさず朝勉強会を行うようにしています。

朝勉強会では、危険物取扱者、一級・二級ボイラー技士、毒物劇物取扱者等の資格を取得するために、基礎から指導する必要があるため、オリジナルのプリントを作成して、反復学習を徹底しています。また、これらに加えて、朝勉強会では、他教科の教員と連携して定期考査対策の勉強会も実施しており、生徒のやる気を伸ばすこと、基礎学力の強化に力点を置いて取り組んでいます。(写真2)



写真2：朝勉強会（令和元年度）

ウ 成果

平成20年度から、高校生でも一定の条件で難関資格の甲種危険物取扱者試験が受験可能となりました。初年度に、埼玉県で初めて高校生の合格者を誕生させて以来、毒劇物取扱者試験においても、ほぼ毎年合格者を誕生させています。

朝勉強会に参加している生徒は、学習に対するモチベーションが上がり、確実に学力が向上しています。実際、参加している生徒の多くは、成績が向上し、クラス内でも上位に位置しています。中には、国公立大学や難関大学に合格した生徒もいます。また、今年度は、英語検定2級や数学検定2級に合格した生徒も現れました。朝勉強会は、生徒たちに良い刺激と自信を与えており、目的意識を持って高校生活を送るという成果をもたらしています。

3 危険物取扱者試験

(1) 学習の状況

危険物取扱者試験は年数回あるので、いつでも挑戦できるように毎日欠かさず朝勉強会を行うようにしています。最近では、2年生の1学期で甲種危険物取扱者試験に合格する生徒も出てきています。

危険物試験の勉強を通して将来、薬学系、農学系、応用化学科、医療系、栄養科学系など幅広い分野に進学をするようになりました。

(2) 今後の課題

コロナ禍により、3密を避ける観点から、全学年一緒に指導することが難しくなりました。そのため朝勉強会では、「奇数組は、月・水曜日」に、「偶数組は火・木曜日」と、分けて行いました。今までより2倍の時間がかかってしまいましたが、簡単なプリントを作成し補うように考えました。

また、学科の枠を越えて生徒たちが自主的に勉強することができる環境づくりと、教職員の理解が必要だと考えています。

コロナ禍でも毎日参加する生徒は、自ら課題を見つけ自主的に勉強する生徒が多数おり、学習の向上が見られます。もっと多数の生徒たちに学習習慣を定着させることが、今後の大きな課題だと思います。

4 終わりに

朝勉強会をとおして生徒達が成長している姿を見て、私自身非常にうれしく思っています。毎年、甲種危険物取扱者試験に合格者を出しているものの、毎日が試行錯誤の連続です。

生徒に対して満足のいく指導ができていないのではとの思いもあります。指導方法をより工夫して、合格率アップを目指し社会に貢献できる実践的技術者を輩出することが私の使命と考えており、これからも全力を尽くしてまいります。

事業報告書

第1 概況

1 新業務情報システムの構築・運用開始等

受験申請者の利便性の向上や業務の効率化・システムの最適化、保守・運用経費の削減等を図るため、令和元年度から構築を進めてきた新業務情報システムの運用を令和3年3月1日から開始した。

また、それに合わせて、電子申請の定着状況を踏まえつつ、書面申請との均衡等を考慮して、電子申請による試験手数料の払込手数料をセンター負担から申請者負担に変更した。

2 試験事業の状況

(1) 危険物取扱者試験

危険物取扱者試験の受験申請者数は322,858人で前年度（363,386人）から40,528人減少（△11.2%）し、平成22年度から連続の減少となった。

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、令和2年4月～5月に緊急事態宣言が発令されたことから多くの試験が延期（中止）となり、6月末の受験申請者数は、対前年同月比で74,649人の減少となった。

その後、次第に試験の再開が進む中、各支部において徹底した感染防止対策を講じるとともに、代替会場の確保や試験日時・回数など実施方法の工夫を通じて精力的に試験実施に取り組んだ結果、上半期の受験申請者数は、対前年同月比で60,264人の減少に縮まった。

さらに、その後も各支部において、こうした取り組みを継続・強化した結果、令和2年度下半期の受験申請者数は前年度を上回るまで回復したが、年度全体でみると、上記のとおり大幅な減少となった。

(2) 消防設備士試験

消防設備士試験の受験申請者数は、95,495人で、前年度（99,878人）から4,383人減少（△4.4%）し、平成30年度から連続の減少となった。

令和2年4月～5月に緊急事態宣言が発令されたことから多くの試験が延期（中止）となり、上半期の受験申請者数は、対前年同月比で11,668人の減少となった。

その後、危険物取扱者試験と同様、各支部において徹底した感染防止対策を講じるとともに、精力的に試験実施に取り組んだ結果、令和2年度下半期の受験申請者数は前年度を上回るまで回復したが、年度全体でみると、上記のとおり減少となった。

(3) 予防技術検定

予防技術検定の受検申請者数は9,538人で前年度（7,904人）から1,634人増加（+20.7%）した。

この増加分のうち、1,074人は、新型コロナウイルス感染症への対応により令和元年度の検定から受検日を振替えた申請者である。

3 免状事業の状況

免状業務については、全ての都道府県と受託契約して、免状作成等の事務を行うとともに、39都道府県と受託契約し、写真書換え未了者に対する書換え促進通知業務を行った。

免状作成等の処理件数は、新規免状の作成、免状の書換え（写真書換えを含む）、再交付免状の作成を含めて、危険物取扱者は242,686件で、前年度（275,948件）から33,262件減少（△12.1%）し、消防設備士は38,548件で、前年度（41,437件）から2,889件減少（△7.0%）した。

危険物取扱者及び消防設備士とも、新型コロナウイルス感染症の影響による受験申請者数の減少に伴い、新規交付の処理件数は大幅に減少するとともに、新業務情報システムの3月稼働に向け、2月に旧業務情報システムの稼働を一時停止したことに伴い、免状業務も停止したことにより、各処理件数の減要因となった。一方、写真書換えは、平成元年の制度創設以来10年毎に申請者が増になることに伴い増要因となった。

業務情報

令和2年度 事業報告及び 決算

第2 個別的事業

1 試験事業

(1) 危険物取扱者試験を全都道府県で、次のとおり実施した。

ア 試験実施回数 (単位：回)

	甲種	乙種							丙種	合計
		第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小計		
当年度	357	458	450	470	953	472	483	3,286	448	4,091
前年度比	+28	+54	+40	+51	+137	+54	+56	+392	+14	+434

イ 受験申請者数・合格者数等

	受験申請者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率
当年度	322,858	292,330	133,037	45.5%
前年度比	△40,528	△37,149	△15,438	+0.4ポイント

(2) 消防設備士試験を全都道府県で、次のとおり実施した。

ア 試験実施回数

① 甲種 (単位：回)

	特類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	合計
当年度	103	128	114	117	142	114	718
前年度比	△3	+4	△1	△1	+5	△1	+3

② 乙種 (単位：回)

	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類	合計
当年度	113	103	109	144	106	152	131	858
前年度比	△3	△5	+4	+11	△6	+3	+7	+11

イ 受験申請者数・合格者数等

	受験申請者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率
当年度	95,495	74,493	28,944	38.9%
前年度比	△4,383	△3,224	+1,435	+3.5ポイント

(3) 予防技術検定を令和2年12月6日に全都道府県で、次のとおり実施した。

		受験申請者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率
防火査察	当年度	5,027	4,668	3,127	67.0%
	前年度比	+846	+738	+837	+8.7ポイント
消防用設備等	当年度	2,554	2,347	1,102	47.0%
	前年度比	+474	+438	+243	+2.0ポイント
危険物	当年度	1,957	1,817	1,084	59.7%
	前年度比	+314	+274	+129	△2.2ポイント
合計	当年度	9,538	8,832	5,313	60.2%
	前年度比	+1,634	+1,450	+1,209	+4.6ポイント

(4) 電子申請者数は、次のとおりであった。

		電子申請者数(人)	受験申請者数(人)	電子申請率
危険物取扱者	当年度	103,038	322,858	31.9%
	前年度比	△ 15,191	△ 40,528	△ 0.6ポイント
消防設備士	当年度	33,291	95,495	34.9%
	前年度比	△ 1,844	△ 4,383	△ 0.3ポイント
合 計	当年度	136,329	418,353	32.6%
	前年度比	△ 17,035	△ 44,911	△ 0.5ポイント

(5) 過去に出題した試験問題の公開について、令和2年8月25日に「試験問題の公開に係る検討委員会」において審議し、令和2年9月30日に、ホームページ上で公開している過去の出題問題の追加・更新を行った。

この結果、令和2年度末現在、危険物取扱者試験については179問、消防設備士試験については92問をホームページ上で公開している。

2 免状事業

(1) 全都道府県の委託を受け、新規、書換え（写真書換えを含む）及び再交付免状の作成を行うとともに、免状データベースに登録した。

ア 免状作成等の処理件数

(単位：件)

		新規交付	書換え		再交付	合計
			写真	写真以外		
危険物取扱者	当年度	114,386	116,128	1,717	10,455	242,686
	前年度比	△ 32,801	+206	△ 60	△ 607	△ 33,262
消防設備士	当年度	24,524	12,884	304	836	38,548
	前年度比	△ 2,710	△ 175	+81	△ 85	△ 2,889
合 計	当年度	138,910	129,012	2,021	11,291	281,234
	前年度比	△ 35,511	+31	+21	△ 692	△ 36,151

※ 書換え（写真以外）については、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数

イ 免状データベースの登録件数の累計は、次のとおりとなった。

登録件数の累計(件)	
危険物取扱者	8,064,343
消防設備士	1,058,131
合 計	9,122,474

(2) 39都道府県と受託契約し、写真書換え未了者に対する書換え促進通知業務を行い、106,331人（危険物取扱者96,938人、消防設備士 9,393人）に通知し、27,341人（25.7%）が写真書換えを申請した。

(受託都道府県)

北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、静岡県、滋賀県、奈良県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

- (3) 全都道府県との覚書により、免状データベースへの講習履歴の収録を次のとおり行った。

	講習履歴の収録件数(件)
危険物取扱者	140,720
消防設備士	107,466
合計	248,186

3 企画研究事業

- (1) 令和元年度から構築を進めてきた新業務情報システムの運用を令和3年3月1日から開始した。
- ア システムの利用者からの要望事項を取込みつつ、不要な部分を削除するなど業務の効率化・システムの最適化を進めるとともに、クラウド方式の活用等を通じて保守・運用経費の削減等を図った。
- イ スマートフォン等による電子申請に合わせた見やすいホームページ画面の整備など受験申請者の利便性の向上に着手した。
- (2) また、それに合わせて、電子申請による試験手数料の払込手数料について、現在では電子申請も増え利用が進んでいること、書面申請の場合には払込手数料が申請者負担となっていること、地方公共団体が所管する他の国家試験はすべて申請者負担とされていること等を考慮し、センター負担から申請者負担に変更した。
- (3) 受験しやすい環境づくりモデル事業（第Ⅱ期）（令和元年度～令和3年度）は、新型コロナウイルス感染症の影響で工業高校等教諭と支部との意見交換会を実施することが困難となったことから、令和2年度の実施を見送り、令和4年度までの計画として受験者確保対策を推進することとした。
- なお、令和2年度は、各支部において工業高校等や消防本部、消防学校等に対し、特定試験や一般試験の受験促進を働きかけた。
- (4) 危険物取扱者及び消防設備士の資格取得に積極的に取り組まれている学校や熱意をもって指導されている教諭に対し、その功績をたたえるため、感謝状を贈呈することとした。
- 令和2年度は、37の高等学校に対し感謝状を贈呈した。
- (5) 広報活動を次のとおり実施した。
- ア 資格制度等に関する広報
- 試験・検定の案内パンフレットの他、広報ターゲットを明確にした大学生及び高校生向け受験促進パンフレット、資格試験広報ポスター、写真書換え啓発ポスターを作成して、関係機関等に配布し資格制度等の周知を図った。
- (作成数量)
- | | |
|-------------------------------|---------|
| ① 試験・検定の案内パンフレット | 37,500部 |
| ② 資格試験広報ポスター | 15,710枚 |
| ③ 大学生向け危険物取扱者試験受験促進パンフレット（甲種） | 10,000部 |
| ④ 高校生向け危険物取扱者試験受験促進パンフレット | 52,000部 |
| ⑤ 写真書換え啓発ポスター | 12,050枚 |
- (配布先)
- 高校、高専、大学、専門学校、事業所、都道府県、消防機関等
- イ 広報誌「消防試験研究センターだよりVoice.」を発行し、関係機関に配布した。
- (作成数量) 隔月 3,100部
- (配布先) 高校、高専、大学、専門学校、都道府県、消防機関等
- ウ ホームページの活用
- 電子申請の案内や全国の試験実施日程等をお知らせするとともに、台風や豪雨災害、新型コロナウイルス感染症への対応による試験の延期等の緊急情報を迅速に提供した。
- エ 消防関係の専門誌等を活用して広報活動を行った。

- (6) 「令和元年度版危険物取扱者・消防設備士 試験・免状統計表」を作成し配布した。
 (作成数量) 320部
 (配布先) 消防庁、都道府県
- (7) 役職員による個人情報の厳格な管理、利用の安全性の確保について徹底するとともに、受験者情報を扱うデータエントリー委託業者に対する厳正な管理・監督の徹底を図った。

4 その他事業

- (1) 支部監査（実地監査）及び会計監査人による支部監査は、新型コロナウイルス感染症の影響により、その実施を翌年度へ繰り越したが、書面による自己点検方式の監査を全支部で実施した。
- (2) 年度当初に開催を予定していた全国支部長会議、ブロック幹事会議は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。
 ブロック支部長会議は、新型コロナウイルス感染症の影響により、ブロックごとにオンラインで開催し、令和3年度予算要求基準や新型コロナウイルス感染症対策と試験計画等について説明し、各支部からの状況報告を受けて意見交換を行った。

（オンラインブロック支部長会議）

ブロック名	幹事県	開催日
北海道・東北	秋田	令和2年9月15日
関東・甲信越	神奈川	令和2年10月8日
中部	愛知	令和2年9月9日
近畿	和歌山	令和2年10月5日
中国・四国	鳥取	令和2年9月28日
九州	熊本	令和2年10月15日

- (3) 消防防災推進事業助成事業は、当初は75事業が対象であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で31事業が中止等となったため、44事業に対して事業助成を行った。
- (4) 関係官庁、関係機関及び諸団体との連絡調整を行った。

第3 評議員会及び理事会の開催に関する事項

1 評議員会

第16回評議員会（令和2年6月29日(月)開催）

理事の選任

原 悟志 氏

監事の選任

菅 俊一 氏

令和元年度事業報告の報告及び令和元年度決算の承認

令和元年度公益目的支出計画実施報告書の報告

2 理事会

- (1) 第29回理事会（令和2年6月12日(金)開催）

理事長（代表理事）及び常務理事（業務執行理事）の職務執行状況報告

令和元年度事業報告の承認及び令和元年度決算の決定

令和元年度公益目的支出計画実施報告書の承認

評議員会招集の決定

- (2) 第30回理事会（令和3年3月15日（月）開催）
理事長（代表理事）及び常務理事（業務執行理事）の職務執行状況報告
令和3年度事業計画及び令和3年度収支予算の承認

附属明細書

令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和2年度決算書

貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	490,245,851	673,906,235	△ 183,660,384
未収金	57,299,451	79,998,254	△ 22,698,803
前払金	18,522,933	18,990,661	△ 467,728
貯蔵品	12,291,127	13,405,175	△ 1,114,048
流動資産合計	578,359,362	786,300,325	△ 207,940,963
2 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	808,014,042	608,014,042	200,000,000
定期預金	0	200,000,000	△ 200,000,000
投資有価証券	1,721,985,958	1,721,985,958	0
基本財産合計	2,530,000,000	2,530,000,000	0
(2) 特定資産			
役員退職慰労引当資産	17,720,600	13,513,400	4,207,200
退職給付引当資産	335,165,880	344,984,002	△ 9,818,122
減価償却引当資産	192,874,991	635,028,624	△ 442,153,633
特定資産合計	545,761,471	993,526,026	△ 447,764,555
(3) その他固定資産			
建物附属設備	2,969,247	3,352,360	△ 383,113
什器備品	80,286,921	2,593,041	77,693,880
ソフトウェア	431,074,337	41,002,971	390,071,366
ソフトウェア仮勘定	0	25,228,500	△ 25,228,500
電話加入権	162,000	162,000	0
敷金	20,907,750	20,907,750	0
保証金	30,000	30,000	0
その他固定資産合計	535,430,255	93,276,622	442,153,633
固定資産合計	3,611,191,726	3,616,802,648	△ 5,610,922
資産合計	4,189,551,088	4,403,102,973	△ 213,551,885
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	60,772,128	65,442,191	△ 4,670,063
前受金	68,075,034	118,557,130	△ 50,482,096
預り金	18,332,917	18,220,013	112,904
特別手当引当金	57,517,119	60,161,233	△ 2,644,114
流動負債合計	204,697,198	262,380,567	△ 57,683,369
2 固定負債			
役員退職慰労引当金	17,720,600	13,513,400	4,207,200
退職給付引当金	335,165,880	344,984,002	△ 9,818,122
固定負債合計	352,886,480	358,497,402	△ 5,610,922
負債合計	557,583,678	620,877,969	△ 63,294,291
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	128,500,000	128,500,000	0
指定正味財産合計	128,500,000	128,500,000	0
(うち基本財産への充当額)	(128,500,000)	(128,500,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2 一般正味財産	3,503,467,410	3,653,725,004	△ 150,257,594
(うち基本財産への充当額)	(2,401,500,000)	(2,401,500,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(192,874,991)	(635,028,624)	(△ 442,153,633)
正味財産合計	3,631,967,410	3,782,225,004	△ 150,257,594
負債及び正味財産合計	4,189,551,088	4,403,102,973	△ 213,551,885

正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	15,024,401	15,319,271	△ 294,870
基本財産受取利息	15,024,401	15,319,271	△ 294,870
特定資産運用益	5,428	8,909	△ 3,481
特定資産受取利息	5,428	8,909	△ 3,481
受取試験手数料	2,012,564,700	2,186,608,800	△ 174,044,100
危険物取扱者試験手数料	1,504,964,500	1,667,070,900	△ 162,106,400
消防設備士試験手数料	453,233,600	474,485,100	△ 21,251,500
予防技術検定手数料	54,366,600	45,052,800	9,313,800
受取免状受託料	475,209,532	534,192,302	△ 58,982,770
危険物取扱者免状受託料	393,035,746	452,073,553	△ 59,037,807
消防設備士免状受託料	68,481,087	71,547,196	△ 3,066,109
写真書換促進業務受託料	11,316,765	10,571,553	745,212
免状交付申請用封筒配布等業務受託料	2,375,934	0	2,375,934
雑収益	1,419,661	1,714,248	△ 294,587
受取利息	8,198	7,345	853
証紙等手数料	284,663	322,364	△ 37,701
免状交付等手数料徴収事務受託料	1,122,000	898,243	223,757
雑収益	4,800	486,296	△ 481,496
経常収益計	2,504,223,722	2,737,843,530	△ 233,619,808
(2) 経常費用			
事業費	2,570,616,600	2,662,648,619	△ 92,032,019
役員報酬	22,272,066	22,485,980	△ 213,914
給料手当	923,924,862	933,769,876	△ 9,845,014
法定福利費	145,670,721	147,429,541	△ 1,758,820
福利厚生費	16,633,069	18,478,834	△ 1,845,765
役員退職慰労引当金繰入額	2,894,640	3,042,960	△ 148,320
退職給付費用	39,908,965	38,037,995	1,870,970
特別手当引当金繰入額	52,967,526	55,554,402	△ 2,586,876
試験監督員賃金	220,826,231	228,860,784	△ 8,034,553
臨時雇賃金	40,528,502	41,509,134	△ 980,632
諸謝金	8,653,680	8,286,614	367,066
事務所等賃借料	179,403,382	173,776,746	5,626,636
試験会場賃借料	119,289,545	92,258,682	27,030,863
事業負担金	10,800,000	13,800,000	△ 3,000,000
リース料	22,095,589	30,210,480	△ 8,114,891
光熱水料費	13,739,408	13,097,446	641,962
通信運搬費	191,329,813	177,871,608	13,458,205
印刷製本費	118,442,528	130,177,711	△ 11,735,183
委託費	194,847,330	179,520,278	15,327,052
保守管理費	12,283,015	8,180,850	4,102,165
旅費交通費	14,057,026	24,152,886	△ 10,095,860
電子申請試験手数料収納費	31,104,032	31,920,556	△ 816,524
消耗什器備品費	0	258,720	△ 258,720
消耗品費	55,989,947	53,857,381	2,132,566
会議費	1,995,758	5,899,468	△ 3,903,710
広告費	11,849,186	14,688,685	△ 2,839,499
消防防災等推進事業助成金	21,792,380	31,767,252	△ 9,974,872
諸会費	603,042	642,213	△ 39,171
災害保険料	989,760	1,004,206	△ 14,446
租税公課	32,857,611	31,489,847	1,367,764
減価償却費	49,878,292	139,325,305	△ 89,447,013
雑費	12,988,694	11,292,179	1,696,515

業務
情報
information

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費	93,475,918	88,062,649	5,413,269
役員報酬	21,225,483	21,332,890	△ 107,407
給料手当	32,689,056	29,161,840	3,527,216
法定福利費	6,567,652	6,086,782	480,870
福利厚生費	907,122	1,181,020	△ 273,898
役員退職慰労引当金繰入額	2,764,560	2,781,040	△ 16,480
退職給付費用	733,393	582,112	151,281
特別手当引当金繰入額	4,549,593	4,606,831	△ 57,238
諸謝金	1,572,546	1,433,447	139,099
事務所等賃借料	14,102,195	13,005,527	1,096,668
リース料	683,767	520,156	163,611
光熱水料費	688,940	682,848	6,092
通信運搬費	672,643	624,757	47,886
印刷製本費	475,739	373,217	102,522
委託費	1,159,488	1,057,841	101,647
保守管理費	592,416	601,109	△ 8,693
旅費交通費	262,357	455,899	△ 193,542
消耗品費	811,970	343,076	468,894
会議費	22,917	278,324	△ 255,407
広告費	17,640	17,208	432
諸会費	66,258	73,977	△ 7,719
災害保険料	166,030	153,194	12,836
租税公課	2,346,603	2,515,286	△ 168,683
雑費	397,550	194,268	203,282
経常費用計	2,664,092,518	2,750,711,268	△ 86,618,750
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 159,868,796	△ 12,867,738	△ 147,001,058
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 159,868,796	△ 12,867,738	△ 147,001,058
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取持続化給付金等	8,000,000	0	8,000,000
過年度損益修正額	1,611,202	0	1,611,202
経常外収益計	9,611,202	0	9,611,202
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	9,611,202	0	9,611,202
当期一般正味財産増減額	△ 150,257,594	△ 12,867,738	△ 137,389,856
一般正味財産期首残高	3,653,725,004	3,666,592,742	△ 12,867,738
一般正味財産期末残高	3,503,467,410	3,653,725,004	△ 150,257,594
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	128,500,000	128,500,000	0
指定正味財産期末残高	128,500,000	128,500,000	0
III 正味財産期末残高	3,631,967,410	3,782,225,004	△ 150,257,594

令和2年度の試験実施結果について—業務部—

当センターが令和2年度に実施した、危険物取扱者試験、消防設備士試験及び予防技術検定の試験実施結果は次のとおりです。

1 危険物取扱者試験及び消防設備士試験の実施結果の概要

危険物取扱者試験及び消防設備士試験の全国における試験実施回数及び受験申請者等の状況は(表1)のとおりです。危険物取扱者試験の受験申請者数は、ここ数年減少傾向を示しています。特に令和2年度は、新型コロナウイルス感染症による試験の中止や延期等で両試験共に減少幅が拡大しました。

■ 表1 危険物取扱者試験及び消防設備士試験の実施結果 (単位：回，人)

年度	区分	危険物取扱者試験	消防設備士試験	合計
平成30年度	試験実施回数	3,544	1,511	5,055
	申請者数	392,065	103,817	495,882
	受験者数	355,361	80,881	436,242
	合格者数	160,195	29,106	189,301
令和元年度	試験実施回数	3,657	1,562	5,219
	申請者数	363,386	99,878	463,264
	受験者数	329,479	77,717	407,196
	合格者数	148,475	27,509	175,984
令和2年度	試験実施回数	4,091	1,576	5,667
	申請者数	322,858	95,495	418,353
	受験者数	292,330	74,493	366,823
	合格者数	133,037	28,944	161,981
対前年度	試験実施回数	+434	+14	+448
	申請者数	-40,528	-4,383	-44,911
	受験者数	-37,149	-3,224	-40,373
	合格者数	-15,438	+1,435	-14,003

2 危険物取扱者試験の実施状況

(1) 試験実施回数の状況(表2)

試験実施回数は、4,091回で、前年度の3,657回に比べ434回増加しました。

■ 表2 危険物取扱者試験の実施回数 (単位：回)

年度	甲種	乙種							丙種	合計
		第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小計		
平成30年度	316	393	395	413	787	411	411	2,810	418	3,544
令和元年度	329	404	410	419	816	418	427	2,894	434	3,657
令和2年度	357	458	450	470	953	472	483	3,286	448	4,091
対前年度	+28	+54	+40	+51	+137	+54	+56	+392	+14	+434

(2) 種類別受験申請者の状況 (表3)

全受験申請者数は322,858人と、前年度に比べ40,528人の減少となり、全ての種類の申請者に減少傾向が見られます。

乙種第4類は、ガソリン、灯油、重油等の最も一般的な危険物の取扱い等に必要な資格であることから、種類別受験申請者数ではその数が225,233人(全体の69.8%)と最も多くなっています。この傾向は例年とおりです。

■ 表3 危険物取扱者試験の種類別受験申請者の状況 (単位：人，%)

年度	区分	甲種	乙種							丙種	合計
			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小計		
平成30年度	申請者	24,381	12,777	12,004	13,541	269,358	13,827	14,292	335,799	31,885	392,065
	構成割合	6.2	3.3	3.1	3.5	68.7	3.5	3.6	85.7	8.1	100
令和元年度	申請者	22,765	11,912	11,504	13,084	248,667	13,375	13,005	311,547	29,074	363,386
	構成割合	6.3	3.3	3.2	3.6	68.4	3.7	3.6	85.7	8.0	100
令和2年度	申請者	21,036	9,517	9,117	11,034	225,233	10,815	11,379	277,095	24,727	322,858
	構成割合	6.5	2.9	2.8	3.4	69.8	3.3	3.5	85.8	7.7	100
対前年度	申請者	-1,729	-2,395	-2,387	-2,050	-23,434	-2,560	-1,626	-34,452	-4,347	-40,528

(3) 種類別合格率の状況 (表4)

全体の合格率は45.5%であり、前年度と比較すると、0.4ポイントの増加でした。

種類ごとの合格率を見ると、甲種が42.5%、乙種第4類が38.6%と、例年同様他の種類と比較して低い値となっています。

■ 表4 危険物取扱者試験の種類別合格率 (単位：人，%)

年度	区分	甲種	乙種							丙種	合計
			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小計		
平成30年度	受験者	20,977	12,333	11,620	13,045	240,102	13,362	13,894	304,356	30,028	355,361
	合格者	8,358	8,256	7,936	8,834	93,667	8,829	8,949	136,471	15,366	160,195
	合格率	39.8	66.9	68.3	67.7	39.0	66.1	64.4	44.8	51.2	45.1
令和元年度	受験者	19,540	11,465	11,114	12,535	221,867	12,862	12,573	282,416	27,523	329,479
	合格者	7,721	7,786	7,618	8,545	85,669	8,836	8,421	126,875	13,879	148,475
	合格率	39.5	67.9	68.5	68.2	38.6	68.7	67.0	44.9	50.4	45.1
令和2年度	受験者	17,957	9,190	8,777	10,612	200,876	10,393	11,041	250,889	23,484	292,330
	合格者	7,632	6,570	6,217	7,513	77,466	7,395	7,560	112,721	12,684	133,037
	合格率	42.5	71.5	70.8	70.8	38.6	71.2	68.5	44.9	54.0	45.5

(4) 職業別受験状況 (表5-1、表5-2)

受験申請者の職業別構成(表5-1)を見ると、高校生が最も多く全体の31.3%を占めるなど、その割合は前年度とほぼ同様の傾向が見られますが、高校生の受験申請者数は9,540人の減少、その割合は0.9ポイントの増加でした(前年度は110,581人30.4%)。また、高校生の甲種受験申請者は865人(前年度920人)でした。

平成22年度、27年度と比較(表5-2)すると高校生の受験申請者が、その人数、割合ともに大きく減少していることや、ガソリンスタンド従業員の受験申請者数が減少傾向にあることがわかります。

表 5-1 危険物取扱者試験の職業別受験状況

(単位：人，%)

職業等	区分	甲種	乙種							丙種	合計	申請者の構成割合
			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小計			
高校生	申請者	865	4,190	3,466	3,894	61,552	3,824	5,473	82,399	17,777	101,041	31.3
	受験者	847	4,162	3,439	3,876	59,873	3,797	5,429	80,576	17,252	98,675	
	合格者	188	2,666	2,203	2,423	14,509	2,435	3,154	27,390	8,399	35,977	
	合格率	22.2	64.1	64.1	62.5	24.2	64.1	58.1	34.0	48.7	36.5	
高校以外の学生、教育・研究機関	申請者	3,586	345	250	504	15,232	463	403	17,197	780	21,563	6.7
	受験者	3,232	330	242	478	13,731	447	390	15,618	738	19,588	
	合格者	1,594	240	184	358	6,723	336	318	8,159	501	10,254	
	合格率	49.3	72.7	76.0	74.9	49.0	75.2	81.5	52.2	67.9	52.4	
ガソリンスタンド	申請者	82	43	38	42	16,276	31	36	16,466	733	17,281	5.4
	受験者	73	39	35	41	14,107	27	35	14,284	648	15,005	
	合格者	17	24	22	27	3,715	22	23	3,833	325	4,175	
	合格率	23.3	61.5	62.9	65.9	26.3	81.5	65.7	26.8	50.2	27.8	
化学工業	申請者	6,303	536	714	736	9,321	1,046	543	12,896	26	19,225	6.0
	受験者	5,452	500	679	682	8,200	969	512	11,542	25	17,019	
	合格者	2,530	365	466	502	3,251	669	382	5,635	21	8,186	
	合格率	46.4	73.0	68.6	73.6	39.7	69.0	74.6	48.8	84.0	48.1	
危険物の卸売業、小売業	申請者	186	100	133	98	6,222	94	104	6,751	433	7,370	2.3
	受験者	143	93	123	91	5,304	89	99	5,799	378	6,320	
	合格者	56	70	98	67	2,130	68	74	2,507	277	2,840	
	合格率	39.2	75.3	79.7	73.6	40.2	76.4	74.8	43.2	73.3	44.9	
危険物の運送業	申請者	84	131	150	195	3,438	170	225	4,309	519	4,912	1.5
	受験者	73	126	141	181	2,879	158	209	3,694	433	4,200	
	合格者	31	85	97	111	999	111	142	1,545	292	1,868	
	合格率	42.5	67.5	68.8	61.3	34.7	70.3	67.9	41.8	67.4	44.5	
危険物を扱うその他の事業	申請者	4,118	1,144	1,628	1,498	43,648	1,492	1,250	50,660	1,133	55,911	17.3
	受験者	3,456	1,079	1,551	1,429	37,803	1,406	1,186	44,454	1,022	48,932	
	合格者	1,499	821	1,092	1,013	15,718	1,012	906	20,562	729	22,790	
	合格率	43.4	76.1	70.4	70.9	41.6	72.0	76.4	46.3	71.3	46.6	
公務員	申請者	1,043	772	697	1,143	11,685	935	831	16,063	360	17,466	5.4
	受験者	856	737	653	1,080	10,643	900	801	14,814	343	16,013	
	合格者	319	603	542	882	6,677	725	675	10,104	307	10,730	
	合格率	37.3	81.8	83.0	81.7	62.7	80.6	84.3	68.2	89.5	67.0	
その他	申請者	4,403	2,153	1,926	2,774	53,690	2,598	2,335	65,476	2,651	72,530	22.5
	受験者	3,513	2,029	1,806	2,612	44,728	2,450	2,211	55,836	2,363	61,712	
	合格者	1,276	1,629	1,441	2,035	22,678	1,912	1,770	31,465	1,707	34,448	
	合格率	36.3	80.3	79.8	77.9	50.7	78.0	80.1	56.4	72.2	55.8	
未入力	申請者	366	103	115	150	4,169	162	179	4,878	315	5,559	1.7
	受験者	312	95	108	142	3,608	150	169	4,272	282	4,866	
	合格者	122	67	72	95	1,066	105	116	1,521	126	1,769	
	合格率	39.1	70.5	66.7	66.9	29.6	70.0	68.6	35.6	44.7	36.4	
合計	申請者	21,036	9,517	9,117	11,034	225,233	10,815	11,379	277,095	24,727	322,858	100
	受験者	17,957	9,190	8,777	10,612	200,876	10,393	11,041	250,889	23,484	292,330	
	合格者	7,632	6,570	6,217	7,513	77,466	7,395	7,560	112,721	12,684	133,037	
	合格率	42.5	71.5	70.8	70.8	38.6	71.2	68.5	44.9	54.0	45.5	

表 5-2 危険物取扱者試験の職業別受験申請者数の推移

(単位：人，%)

年度	区分	高校生	高校生以外	ガソリンスタンド	化学工業	危険物卸・小売	危険物の運送業	危険物を扱うその他の事業	公務員	その他	未入力	合計
平成22年度	申請者数	200,903	36,361	30,715	27,224	8,945	6,262	80,349	19,509	93,206	7,410	510,884
	構成割合	39.3	7.1	6.0	5.3	1.8	1.2	15.7	3.8	18.2	1.5	100
平成27年度	申請者数	151,700	28,996	26,946	24,914	9,933	6,338	75,248	21,809	87,034	8,988	441,906
	構成割合	34.3	6.6	6.1	5.6	2.2	1.4	17.0	4.9	19.7	2.0	100
令和2年度	申請者数	101,041	21,563	17,281	19,225	7,370	4,912	55,911	17,466	72,530	5,559	322,858
	構成割合	31.3	6.7	5.4	6.0	2.3	1.5	17.3	5.4	22.5	1.7	100

(5) 年代別受験状況 (表6)

高校生の受験申請者が多数を占めることから、20歳代未満の受験申請者が36.7%と高い値となっています。年齢別構成割合は、前年度とほぼ同様の傾向を示しています。今後、少子高齢化の影響により、その割合が変化していくことが予想されます。

合格率を年代別に見ると、全体的には60歳代までは年代が上がるにつれ高くなる傾向が見られます。

■ 表6 危険物取扱者試験の年代別受験状況 (単位：人，%)

年代	区分	甲種	乙種							丙種	合計	申請者の構成割合
			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小計			
20代未満	申請者	1,143	4,419	3,704	4,224	76,187	4,176	5,755	98,465	18,700	118,308	36.7
	受験者	1,112	4,382	3,669	4,196	73,385	4,141	5,708	95,481	18,143	114,736	
	合格者	276	2,824	2,362	2,654	19,188	2,678	3,364	33,070	8,913	42,259	
	合格率	24.8	64.5	64.4	63.3	26.2	64.7	58.9	34.6	49.1	36.8	
20代	申請者	10,519	1,209	1,402	1,792	56,277	1,728	1,407	63,815	1,621	75,955	23.5
	受験者	9,328	1,135	1,315	1,693	48,739	1,620	1,331	55,833	1,439	66,600	
	合格者	4,821	849	980	1,266	22,210	1,160	1,014	27,479	915	33,215	
	合格率	51.7	74.8	74.5	74.8	45.6	71.6	76.2	49.2	63.6	49.9	
30代	申請者	4,358	1,391	1,391	1,761	36,370	1,788	1,485	44,186	1,352	49,896	15.5
	受験者	3,497	1,309	1,308	1,637	30,883	1,676	1,407	38,220	1,205	42,922	
	合格者	1,327	1,014	966	1,280	13,621	1,310	1,108	19,299	852	21,478	
	合格率	38.0	77.5	73.9	78.2	44.1	78.2	78.8	50.5	70.7	50.0	
40代	申請者	2,987	1,415	1,572	1,815	32,230	1,779	1,558	40,369	1,586	44,942	13.9
	受験者	2,407	1,333	1,496	1,716	27,299	1,677	1,481	35,002	1,405	38,814	
	合格者	735	1,046	1,142	1,282	12,036	1,260	1,187	17,953	1,041	19,729	
	合格率	30.5	78.5	76.3	74.7	44.1	75.1	80.2	51.3	74.1	50.8	
50代	申請者	1,620	865	846	1,130	18,307	1,085	932	23,165	1,033	25,818	8.0
	受験者	1,289	817	798	1,073	15,465	1,033	885	20,071	907	22,267	
	合格者	369	667	615	798	7,479	797	707	11,063	670	12,102	
	合格率	28.6	81.6	77.1	74.4	48.4	77.2	79.9	55.1	73.9	54.4	
60代	申請者	357	203	184	289	5,269	241	220	6,406	396	7,159	2.2
	受験者	288	199	174	275	4,600	231	209	5,688	349	6,325	
	合格者	100	158	140	217	2,677	179	165	3,536	269	3,905	
	合格率	34.7	79.4	80.5	78.9	58.2	77.5	79.0	62.2	77.1	61.7	
70代以上	申請者	52	15	18	23	593	18	22	689	39	780	0.2
	受験者	36	15	17	22	505	15	20	594	36	666	
	合格者	4	12	12	16	255	11	15	321	24	349	
	合格率	11.1	80.0	70.6	72.7	50.5	73.3	75.0	54.0	66.7	52.4	
合計	申請者	21,036	9,517	9,117	11,034	225,233	10,815	11,379	277,095	24,727	322,858	100
	受験者	17,957	9,190	8,777	10,612	200,876	10,393	11,041	250,889	23,484	292,330	
	合格者	7,632	6,570	6,217	7,513	77,466	7,395	7,560	112,721	12,684	133,037	
	合格率	42.5	71.5	70.8	70.8	38.6	71.2	68.5	44.9	54.0	45.5	

3 消防設備士試験の実施状況

(1) 試験実施回数数の状況 (表7)

試験実施回数は、1,576回で前年度の1,562回に比べ14回増加しました。

■ 表7 消防設備士試験の種類別試験実施回数 (単位：回)

年度	甲種							乙種							合計	
	特類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	小計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類		小計
平成30年度	105	122	113	116	134	113	703	114	99	100	127	109	141	118	808	1,511
令和元年度	106	124	115	118	137	115	715	116	108	105	133	112	149	124	847	1,562
令和2年度	103	128	114	117	142	114	718	113	103	109	144	106	152	131	858	1,576
対前年度	-3	+4	-1	-1	+5	-1	+3	-3	-5	+4	+11	-6	+3	+7	+11	+14

(2) 種類別受験申請者数の状況 (表8)

全受験申請者は95,495人であり、前年度の99,878人に比べ4,383人の減少となりました。

■ 表8 消防設備士試験の種類別受験申請者の状況 (単位：人，%)

年度	区分	甲 種							乙 種							合計	
		特 類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	小 計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類		小 計
平成30年度	申請者	1,364	14,831	3,960	4,181	24,604	4,028	52,968	2,773	718	866	12,489	1,131	26,616	6,256	50,849	103,817
	構成割合	1.3	14.3	3.8	4.0	23.7	3.9	51.0	2.7	0.7	0.8	12.0	1.1	25.6	6.0	49.0	100
令和元年度	申請者	1,299	13,899	3,835	3,902	23,080	3,958	49,973	2,748	769	934	11,421	1,176	26,839	6,018	49,905	99,878
	構成割合	1.3	13.9	3.8	3.9	23.1	4.0	50.0	2.8	0.8	0.9	11.4	1.2	26.9	6.0	50.0	100
令和2年度	申請者	1,103	13,706	3,636	3,622	21,977	3,510	47,554	2,457	623	824	10,869	1,064	26,361	5,743	47,941	95,495
	構成割合	1.2	14.4	3.8	3.8	23.0	3.7	49.8	2.6	0.7	0.9	11.4	1.1	27.6	6.0	50.2	100
対前年度		-196	-193	-199	-280	-1,103	-448	-2,419	-291	-146	-110	-552	-112	-478	-275	-1,964	-4,383

(3) 種類別合格率の状況 (表9)

全体の合格率は38.9%であり、前年度と比較すると、3.5ポイントの増加でした。

■ 表9 消防設備士試験の種類別合格率 (単位：人，%)

年度	区分	甲 種							乙 種							合計	
		特 類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	小 計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類		小 計
平成30年度	受験者	1,178	10,675	3,127	3,286	18,484	3,215	39,965	2,250	609	741	9,800	939	21,194	5,383	40,916	80,881
	合格者	282	2,940	1,113	1,283	5,986	1,133	12,737	706	215	265	3,178	367	8,476	3,162	16,369	29,106
	合格率	23.9	27.5	35.6	39.0	32.4	35.2	31.9	31.4	35.3	35.8	32.4	39.1	40.0	58.7	40.0	36.0
令和元年度	受験者	1,087	10,036	3,023	3,072	17,361	3,205	37,784	2,169	660	799	8,849	988	21,333	5,135	39,933	77,717
	合格者	232	2,641	1,095	1,177	5,831	1,093	12,069	571	246	220	2,923	355	8,176	2,949	15,440	27,509
	合格率	21.3	26.3	36.2	38.3	33.6	34.1	31.9	26.3	37.3	27.5	33.0	35.9	38.3	57.4	38.7	35.4
令和2年度	受験者	918	9,949	2,895	2,893	16,554	2,888	36,097	1,917	517	707	8,492	882	20,955	4,926	38,396	74,493
	合格者	248	3,104	960	1,150	6,159	1,103	12,724	647	194	241	3,007	378	8,944	2,809	16,220	28,944
	合格率	27.0	31.2	33.2	39.8	37.2	38.2	35.2	33.8	37.5	34.1	35.4	42.9	42.7	57.0	42.2	38.9

(4) 筆記試験、実技試験の合格者の状況 (表10)

消防設備士試験には、筆記試験と実技試験の2つの試験がありますが、筆記試験の合格率は58.9%でした。筆記試験合格者のうち実技試験にも合格した者の全受験者に対する割合(最終合格率)は38.9%でした。

■ 表10 消防設備士試験の筆記試験、実技試験の合格状況 (単位：人，%)

試験種類	区分	甲 種							乙 種							合計
		特 類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類		
申請者数		1,103	13,706	3,636	3,622	21,977	3,510	2,457	623	824	10,869	1,064	26,361	5,743	95,495	
受験者数		918	9,949	2,895	2,893	16,554	2,888	1,917	517	707	8,492	882	20,955	4,926	74,493	
筆 記	合格者数	248	5,090	1,785	1,871	9,391	1,731	1,066	307	409	5,116	546	13,094	3,224	43,878	
	合格率	27.0	51.2	61.7	64.7	56.7	59.9	55.6	59.4	57.9	60.2	61.9	62.5	65.4	58.9	
実 技	合格者数	—	3,104	960	1,150	6,159	1,103	647	194	241	3,007	376	8,934	766	26,641	
	合格率	—	61.0	53.8	61.5	65.6	63.7	60.7	63.2	58.9	58.8	69.1	68.3	64.9	64.1	
最 終	合格者数	248	3,104	960	1,150	6,159	1,103	647	194	241	3,007	378	8,944	2,809	28,944	
	合格率	27.0	31.2	33.2	39.8	37.2	38.2	33.8	37.5	34.1	35.4	42.9	42.7	57.0	38.9	

(5) 職業別受験状況 (表11-1、表11-2)

受験申請者の職業のうち、最も多い職業は消防設備業であり、電気工事業、ビル管理業、管工事業がこれに次いで多くの割合を占めています。この傾向はほぼ例年どおりであり、これらの職業の従事者で全体の過半数を占めています。

職業別受験申請者数の推移(表11-2)については、ここ数年その構成割合に大きな変化は認められません。

■ 表 11-1 消防設備士試験の職業別受験状況

(単位：人，%)

職業	区分	甲 種							乙 種							合計	申請者の構成割合	
		特 類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	小 計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類			小 計
学生	申請者	0	102	3	8	642	7	762	70	5	3	831	8	800	556	2,273	3,035	3.2
	受験者	0	91	2	8	580	6	687	60	2	3	733	6	685	527	2,016	2,703	
	合格者	0	33	0	4	222	4	263	8	1	2	242	2	242	161	658	921	
	合格率	0.0	36.3	0.0	50.0	38.3	66.7	38.3	13.3	50.0	66.7	33.0	33.3	35.3	30.6	32.6	34.1	
消防設備業	申請者	498	3,152	1,542	1,622	4,006	1,681	12,501	252	88	148	748	162	5,647	775	7,820	20,321	21.3
	受験者	416	2,343	1,207	1,295	3,201	1,368	9,830	198	71	130	620	138	4,625	677	6,459	16,289	
	合格者	100	621	323	423	969	369	2,805	50	21	28	173	46	1,464	344	2,126	4,931	
	合格率	24.0	26.5	26.8	32.7	30.3	27.0	28.5	25.3	29.6	21.5	27.9	33.3	31.7	50.8	32.9	30.3	
電気工事業	申請者	70	584	170	248	7,483	242	8,797	80	10	40	858	42	1,721	1,202	3,953	12,750	13.4
	受験者	58	427	140	195	5,504	190	6,514	61	10	31	618	32	1,292	991	3,035	9,549	
	合格者	14	138	41	66	1,584	57	1,900	19	4	7	144	11	480	507	1,172	3,072	
	合格率	24.1	32.3	29.3	33.8	28.8	30.0	29.2	31.1	40.0	22.6	23.3	34.4	37.2	51.2	38.6	32.2	
管工事業	申請者	59	5,359	556	362	673	138	7,147	180	16	4	153	5	882	114	1,354	8,501	8.9
	受験者	46	3,760	426	259	471	112	5,074	141	15	4	108	1	667	92	1,028	6,102	
	合格者	10	836	134	97	169	52	1,298	33	6	1	23	1	256	51	371	1,669	
	合格率	21.7	22.2	31.5	37.5	35.9	46.4	25.6	23.4	40.0	25.0	21.3	100.0	38.4	55.4	36.1	27.4	
建築業	申請者	49	1,275	178	188	1,673	152	3,515	131	34	41	431	38	1,062	203	1,940	5,455	5.7
	受験者	36	881	135	145	1,131	125	2,453	102	27	37	280	27	775	157	1,405	3,858	
	合格者	8	287	41	55	443	58	892	23	5	13	80	10	337	99	567	1,459	
	合格率	22.2	32.6	30.4	37.9	39.2	46.4	36.4	22.5	18.5	35.1	28.6	37.0	43.5	63.1	40.4	37.8	
ビル管理業	申請者	124	995	355	377	2,457	455	4,763	361	110	121	1,591	193	3,022	824	6,222	10,985	11.5
	受験者	106	726	296	314	1,798	371	3,611	289	88	101	1,188	165	2,262	720	4,813	8,424	
	合格者	29	346	115	160	793	169	1,612	123	47	52	441	69	1,042	518	2,292	3,904	
	合格率	27.4	47.7	38.9	51.0	44.1	45.6	44.6	42.6	53.4	51.5	37.1	41.8	46.1	71.9	47.6	46.3	
ビル整備業	申請者	5	39	15	19	70	14	162	14	3	7	61	4	150	33	272	434	0.5
	受験者	4	28	12	14	51	13	122	8	2	7	43	4	113	24	201	323	
	合格者	3	8	3	8	25	6	53	3	0	1	15	1	41	11	72	125	
	合格率	75.0	28.6	25.0	57.1	49.0	46.2	43.4	37.5	0.0	14.3	34.9	25.0	36.3	45.8	35.8	38.7	
公務員	申請者	86	414	186	189	875	224	1,974	211	58	58	753	146	1,797	403	3,426	5,400	5.7
	受験者	78	353	165	161	712	197	1,666	171	53	54	656	127	1,513	353	2,927	4,593	
	合格者	41	231	95	101	436	125	1,029	90	28	34	287	68	846	209	1,562	2,591	
	合格率	52.6	65.4	57.6	62.7	61.2	63.5	61.8	52.6	52.8	63.0	43.8	53.5	55.9	59.2	53.4	56.4	
その他	申請者	208	1,651	613	580	3,862	570	7,484	1,131	296	395	5,318	458	10,977	1,581	20,156	27,640	28.9
	受験者	171	1,236	502	479	2,934	485	5,807	865	247	333	4,147	376	8,778	1,339	16,085	21,892	
	合格者	42	580	205	228	1,474	259	2,788	294	82	101	1,575	168	4,171	883	7,274	10,062	
	合格率	24.6	46.9	40.8	47.6	50.2	53.4	48.0	34.0	33.2	30.3	38.0	44.7	47.5	65.9	45.2	46.0	
未入力	申請者	4	135	18	29	236	27	449	27	3	7	125	8	303	52	525	974	1.0
	受験者	3	104	10	23	172	21	333	22	2	7	99	6	245	46	427	760	
	合格者	1	24	3	8	44	4	84	4	0	2	27	2	65	26	126	210	
	合格率	33.3	23.1	30.0	34.8	25.6	19.0	25.2	18.2	0.0	28.6	27.3	33.3	26.5	56.5	29.5	27.6	
合計	申請者	1,103	13,706	3,636	3,622	21,977	3,510	47,554	2,457	623	824	10,869	1,064	26,361	5,743	47,941	95,495	100
	受験者	918	9,949	2,895	2,893	16,554	2,888	36,097	1,917	517	707	8,492	882	20,955	4,926	38,396	74,493	
	合格者	248	3,104	960	1,150	6,159	1,103	12,724	647	194	241	3,007	378	8,944	2,809	16,220	28,944	
	合格率	27.0	31.2	33.2	39.8	37.2	38.2	35.2	33.8	37.5	34.1	35.4	42.9	42.7	57.0	42.2	38.9	

■ 表 11-2 消防設備士試験の職業別受験申請者数の推移

(単位：人，%)

年度	区分	学 生	消防設備業	電気工事業	管工事業	建築業	ビル管理業	ビル整備業	公務員	その他	未入力	合計
平成22年度	申請者数	4,522	19,851	13,442	8,500	3,934	11,376	408	5,316	29,065	940	97,354
	構成割合	4.6	20.4	13.8	8.7	4.0	11.7	0.4	5.5	29.9	1.0	100
平成27年度	申請者数	4,271	20,574	15,074	9,425	7,221	12,311	429	6,120	30,974	1,405	107,804
	構成割合	4.0	19.1	14.0	8.7	6.7	11.4	0.4	5.7	28.7	1.3	100
令和2年度	申請者数	3,035	20,321	12,750	8,501	5,455	10,985	434	5,400	27,640	974	95,495
	構成割合	3.2	21.3	13.4	8.9	5.7	11.5	0.5	5.7	28.9	1.0	100

(6) 年代別受験状況 (表12)

年代別に見た場合、20歳代未満の受験申請者割合は2.7%であり、危険物取扱者試験のように、20歳代未満の受験申請者が際立って多いことはありません。30歳代の割合が最も多く27.5%を占め、40歳代、20歳代の割合がこれに続きます。

年代別合格率は、危険物取扱者試験と同じく、全体的には60歳代までは概ね年代が上がるにつれ高くなる傾向が見られます。

■ 表 12 消防設備士試験の年代別受験状況 (単位：人，%)

年代	区分	甲 種							乙 種							合計	申請者の構成割合	
		特 類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	小 計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類			小 計
20代 未満	申請者	0	143	5	7	624	5	784	55	1	4	439	9	725	524	1,757	2,541	2.7
	受験者	0	119	4	6	533	3	665	47	1	4	397	7	657	496	1,609	2,274	
	合格者	0	18	0	2	136	1	157	2	0	2	60	2	164	146	376	533	
	合格率	0.0	15.1	0.0	33.3	25.5	33.3	23.6	4.3	0.0	50.0	15.1	28.6	25.0	29.4	23.4	23.4	
20代	申請者	68	4,173	581	545	6,556	378	12,301	518	80	111	2,312	124	6,929	1,114	11,188	23,489	24.6
	受験者	56	3,037	464	427	4,914	303	9,201	414	65	98	1,750	103	5,565	924	8,919	18,120	
	合格者	20	893	161	174	1,666	106	3,020	112	22	25	562	39	2,077	471	3,308	6,328	
	合格率	35.7	29.4	34.7	40.7	33.9	35.0	32.8	27.1	33.8	25.5	32.1	37.9	37.3	51.0	37.1	34.9	
30代	申請者	260	4,038	1,108	1,174	6,134	1,156	13,870	651	139	181	2,639	258	7,131	1,429	12,428	26,298	27.5
	受験者	214	2,852	853	934	4,492	948	10,293	505	115	154	1,999	211	5,635	1,193	9,812	20,105	
	合格者	69	919	314	367	1,747	354	3,770	176	42	46	746	103	2,515	696	4,324	8,094	
	合格率	32.2	32.2	36.8	39.3	38.9	37.3	36.6	34.9	36.5	29.9	37.3	48.8	44.6	58.3	44.1	40.3	
40代	申請者	374	3,458	1,198	1,125	5,320	1,171	12,646	637	204	288	2,665	320	6,640	1,508	12,262	24,908	26.1
	受験者	306	2,516	945	896	3,987	951	9,601	490	172	237	2,078	261	5,190	1,312	9,740	19,341	
	合格者	83	758	280	354	1,532	351	3,358	185	64	79	765	107	2,293	854	4,347	7,705	
	合格率	27.1	30.1	29.6	39.5	38.4	36.9	35.0	37.8	37.2	33.3	36.8	41.0	44.2	65.1	44.6	39.8	
50代	申請者	280	1,499	573	579	2,551	619	6,101	454	147	168	1,952	244	3,827	881	7,673	13,774	14.4
	受験者	242	1,123	485	463	1,988	529	4,830	350	121	150	1,560	203	3,000	763	6,147	10,977	
	合格者	57	391	158	178	796	223	1,803	121	43	66	580	96	1,421	484	2,811	4,614	
	合格率	23.6	34.8	32.6	38.4	40.0	42.2	37.3	34.6	35.5	44.0	37.2	47.3	47.4	63.4	45.7	42.0	
60代	申請者	103	341	159	180	724	161	1,668	131	50	59	799	89	1,027	264	2,419	4,087	4.3
	受験者	85	262	135	158	585	135	1,360	104	42	53	657	78	837	219	1,990	3,350	
	合格者	16	112	44	74	261	61	568	48	22	22	276	29	444	147	988	1,556	
	合格率	18.8	42.7	32.6	46.8	44.6	45.2	41.8	46.2	52.4	41.5	42.0	37.2	53.0	67.1	49.6	46.4	
70代 以上	申請者	18	54	12	12	68	20	184	11	2	13	63	20	82	23	214	398	0.4
	受験者	15	40	9	9	55	19	147	7	1	11	51	19	71	19	179	326	
	合格者	3	13	3	1	21	7	48	3	1	1	18	2	30	11	66	114	
	合格率	20.0	32.5	33.3	11.1	38.2	36.8	32.7	42.9	100.0	9.1	35.3	10.5	42.3	57.9	36.9	35.0	
合 計	申請者	1,103	13,706	3,636	3,622	21,977	3,510	47,554	2,457	623	824	10,869	1,064	26,361	5,743	47,941	95,495	100
	受験者	918	9,949	2,895	2,893	16,554	2,888	36,097	1,917	517	707	8,492	882	20,955	4,926	38,396	74,493	
	合格者	248	3,104	960	1,150	6,159	1,103	12,724	647	194	241	3,007	378	8,944	2,809	16,220	28,944	
	合格率	27.0	31.2	33.2	39.8	37.2	38.2	35.2	33.8	37.5	34.1	35.4	42.9	42.7	57.0	42.2	38.9	

4 予防技術検定の実施状況

予防技術検定は、予防技術資格者制度の発足に伴い、平成17年度から各年度1回ずつ全国一斉に実施していますが、令和2年12月6日に実施した第16回検定では、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、風邪等の症状により昨年度から受検を延期した受検者が本年度検定に振替えたため、受検申請者が9,538人と、前年度と比べ1,634人増加しました。

■ 表 13 予防技術検定の実施状況 (単位：人，%)

実施回	年 度	申請者数	受検者数	合格者数	合格率
第11回	平成27年度	7,858	7,328	2,826	38.6
第12回	平成28年度	8,333	7,813	4,556	58.3
第13回	平成29年度	8,967	8,447	4,001	47.4
第14回	平成30年度	9,261	8,752	4,297	49.1
第15回	令和元年度	7,904	7,382	4,104	55.6
第16回	令和2年度	9,538	8,832	5,313	60.2

令和2年度の免状作成等の状況について —免状部—

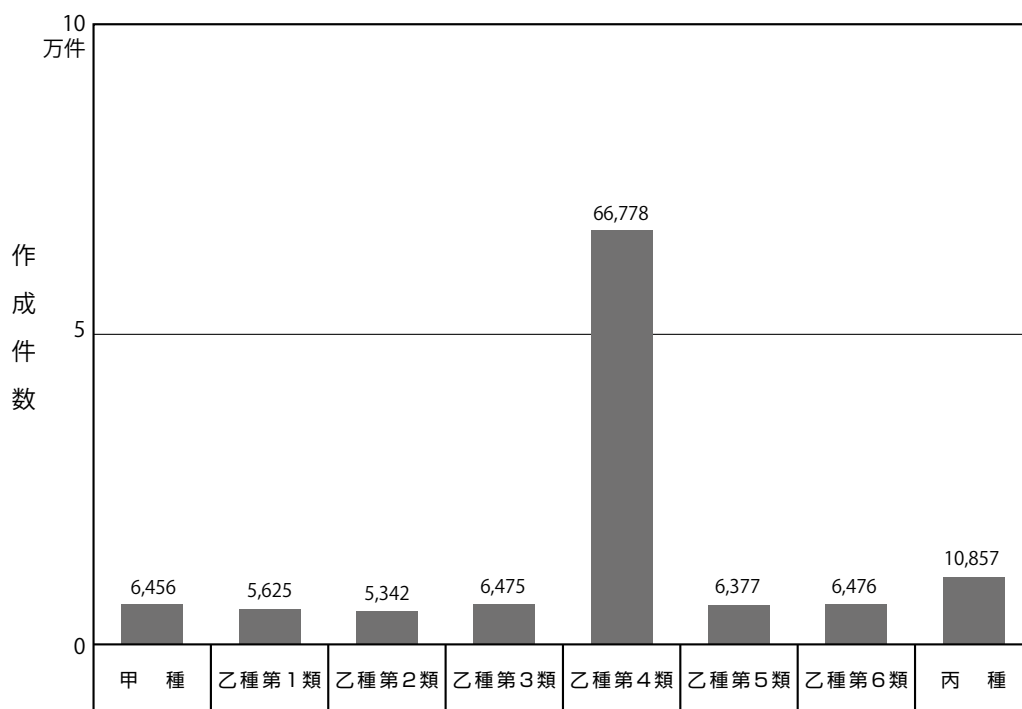
当センターが、令和2年度に都道府県から受託して作成した免状等の状況は、次のとおりです。

1 新規免状作成状況

(1) 危険物取扱者

危険物取扱者の新規免状作成件数は、図1のとおり、令和元年度と比べて22.3%減の11万4千386件となっています。

■図1 令和2年度 危険物取扱者新規免状作成件数

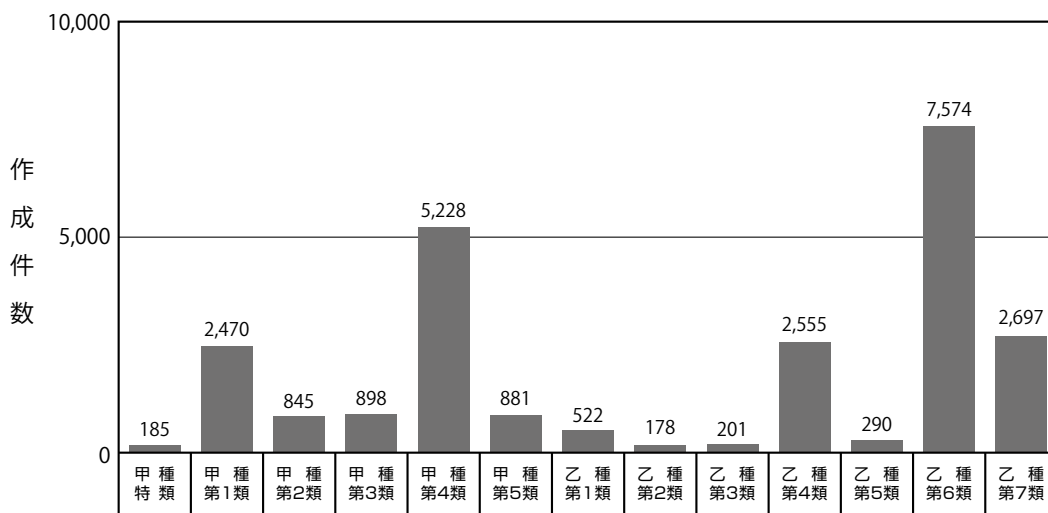


年度	甲種	乙種						丙種	合計
		第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類		
令和元年度	7,995	7,717	7,551	8,325	85,917	8,697	8,308	12,677	147,187
令和2年度	6,456	5,625	5,342	6,475	66,778	6,377	6,476	10,857	114,386
増減率	-19.2%	-27.1%	-29.3%	-22.2%	-22.3%	-26.7%	-22.1%	-14.4%	-22.3%

(2) 消防設備士

消防設備士の新規免状作成件数は、図2のとおり、令和元年度と比べて10.0%減の2万4千524件となっています。

■図2 令和2年度 消防設備士新規免状作成件数



年度	甲種						乙種							合計
	特類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類	
令和元年度	215	2,655	1,067	1,188	5,789	1,152	531	223	190	2,874	324	8,108	2,918	27,234
令和2年度	185	2,470	845	898	5,228	881	522	178	201	2,555	290	7,574	2,697	24,524
増減率	-14.0%	-7.0%	-20.8%	-24.4%	-9.7%	-23.5%	-1.7%	-20.2%	5.8%	-11.1%	-10.5%	-6.6%	-7.6%	-10.0%

2 免状処理状況の推移

昭和63年度から令和2年度までの免状処理状況の推移は、図3、図4、表1及び表2のとおりです。過去10年間の推移をみると次のとおりです。

(1) 新規

ア 危険物取扱者は、平成23年度の19万7千942件をピークに19万件台から11万件台で推移しています。令和2年度は、前年度に比べ22.3%減の11万4千386件となっています。

イ 消防設備士は、平成26年度の2万9千145件がピークに2万件台で推移しています。令和2年度は、前年度に比べ10.0%減の2万4千524件となっています。

(2) 写真書換え

ア 危険物取扱者は、平成23年度の13万7千460件をピークに減少傾向にありましたが、平成29年度から微増でした。令和2年度は前年度に比べ0.2%増の11万6千128件となっています。

イ 消防設備士は、危険物取扱者と同様に平成23年度の1万3千80件をピークに1万2千件台から1万1千件台で推移しています。令和2年度は、前年度に比べ1.3%減の1万2千884件となっています。

(3) 本籍等の書換え

ア 危険物取扱者は、平成25年度から新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数を表示しています。令和2年度は、前年度に比べ3.4%減の1千717件となっています。

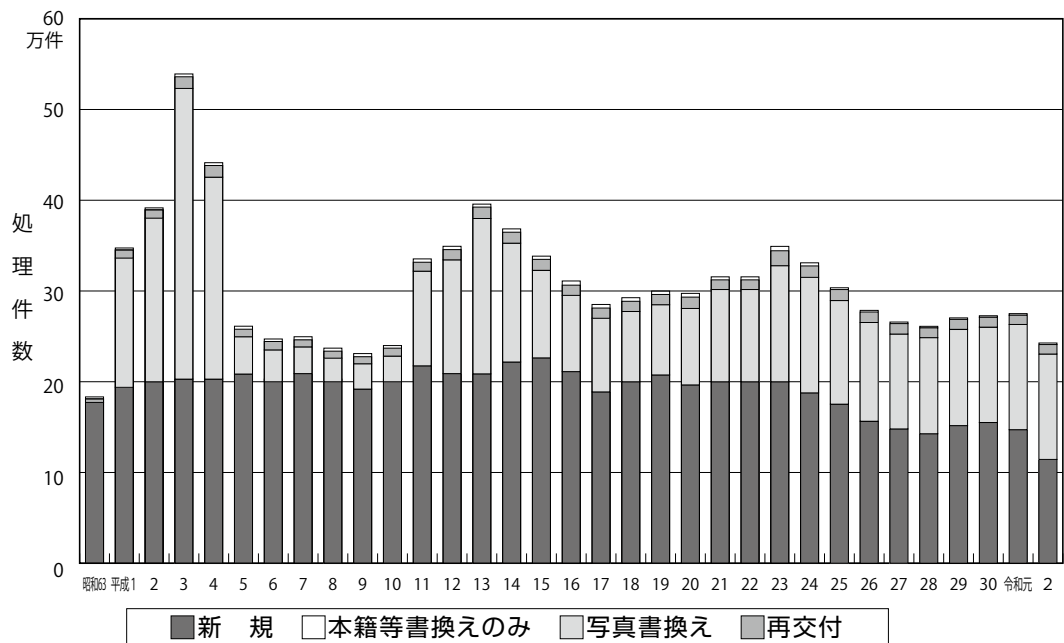
イ 消防設備士も危険物取扱者と同様の表示です。令和2年度は前年度に比べ36.3%増の304件となっています。

(4) 再交付

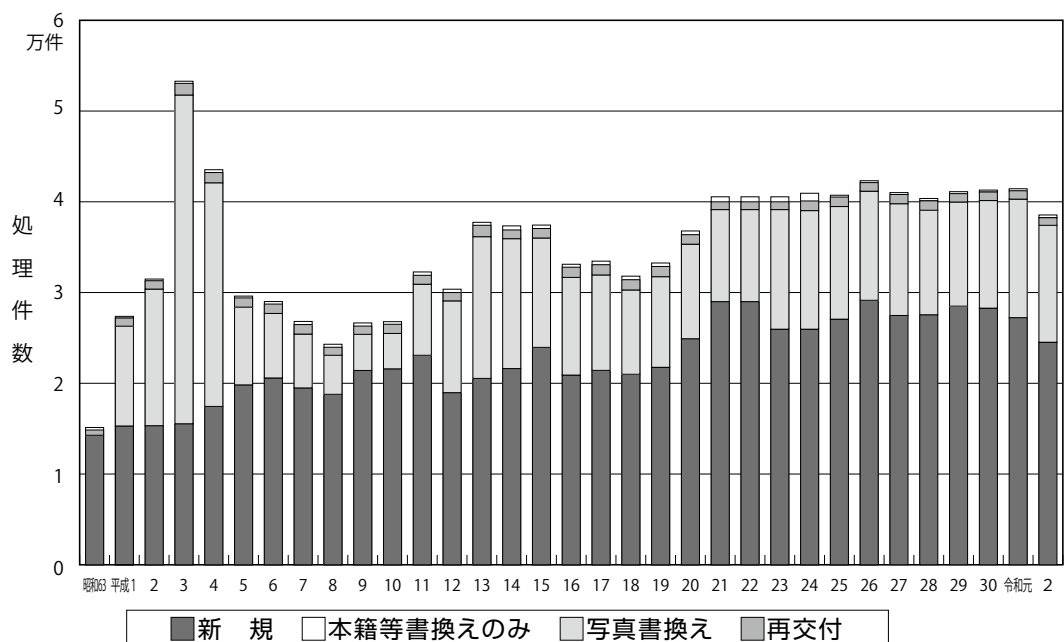
ア 危険物取扱者は、平成23年度の1万4千628件をピークに1万件台で推移しています。令和2年度は、前年度に比べ5.5%減の1万455件となっています。

イ 消防設備士は、900件前後で推移しています。令和2年度は、前年度に比べ9.2%減の836件となっています。

■図3 危険物取扱者の免状処理状況の推移



■図4 消防設備士の免状処理状況の推移



■ 表1 危険物取扱者免状処理状況の推移

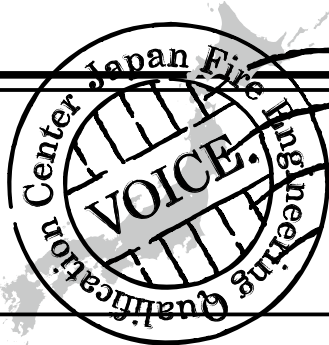
年度	合計	対前年 増減率	免状作成件数						再交付	対前年 増減率	本籍等の 書換え	対前年 増減率
			対前年 増減率	新規	対前年 増減率	写真書換え	対前年 増減率	再交付				
昭和63年度	182,519	—	180,838	—	177,566	—	—	3,272	—	1,681	—	
平成1年度	346,876	90.0%	345,648	91.1%	194,564	9.6%	143,422	7,662	134.2%	1,228	-26.9%	
平成2年度	391,648	12.9%	390,165	12.9%	199,375	2.5%	181,642	9,148	19.4%	1,483	20.8%	
平成3年度	539,433	37.7%	537,231	37.7%	202,844	1.7%	321,056	13,331	45.7%	2,202	48.5%	
平成4年度	440,831	-18.3%	438,636	-18.4%	202,975	0.1%	223,087	12,574	-5.7%	2,195	-0.3%	
平成5年度	262,788	-40.4%	260,787	-40.5%	208,727	2.8%	44,325	7,735	-38.5%	2,001	-8.8%	
平成6年度	248,916	-5.3%	246,614	-5.4%	201,848	-3.3%	36,504	8,262	6.8%	2,302	15.0%	
平成7年度	251,749	1.1%	249,179	1.0%	211,299	4.7%	29,927	7,953	-3.7%	2,570	11.6%	
平成8年度	239,407	-4.9%	236,524	-5.1%	202,421	-4.2%	26,280	7,823	-1.6%	2,883	12.2%	
平成9年度	232,704	-2.8%	229,664	-2.9%	194,220	-4.1%	27,355	8,089	3.4%	3,040	5.4%	
平成10年度	241,814	3.9%	238,753	4.0%	203,114	4.6%	27,086	8,553	5.7%	3,061	0.7%	
平成11年度	336,025	39.0%	332,893	39.4%	220,497	8.6%	102,647	9,749	14.0%	3,132	2.3%	
平成12年度	350,831	4.4%	347,739	4.5%	211,281	-4.2%	125,622	10,836	11.1%	3,092	-1.3%	
平成13年度	394,582	12.5%	391,442	12.6%	209,542	-0.8%	169,911	11,989	10.6%	3,140	1.6%	
平成14年度	370,008	-6.2%	366,897	-6.3%	222,496	6.2%	132,005	12,396	3.4%	3,111	-0.9%	
平成15年度	339,491	-8.2%	336,370	-8.3%	227,288	2.2%	96,983	12,099	-2.4%	3,121	0.3%	
平成16年度	331,034	-8.4%	308,000	-8.4%	212,220	-6.6%	84,159	11,621	-4.0%	3,034	-2.8%	
平成17年度	284,975	-8.4%	281,941	-8.5%	189,455	-10.7%	80,987	11,499	-1.0%	3,034	0.0%	
平成18年度	292,603	2.7%	289,406	2.6%	200,093	5.6%	77,283	12,030	4.6%	3,197	5.4%	
平成19年度	300,211	2.6%	296,952	2.6%	207,754	3.8%	77,283	11,915	-1.0%	3,259	1.9%	
平成20年度	297,098	-1.0%	293,815	-1.1%	196,075	-5.6%	84,923	12,817	7.6%	3,283	0.7%	
平成21年度	321,663	8.3%	318,486	8.4%	199,816	1.9%	106,110	12,560	-2.0%	3,177	-3.2%	
平成22年度	322,723	0.3%	319,375	0.3%	192,459	-3.7%	114,549	12,367	-1.5%	3,348	5.4%	
平成23年度	353,617	9.6%	350,030	9.6%	197,942	2.8%	137,460	14,628	18.3%	3,587	7.1%	
平成24年度	331,084	-6.4%	327,660	-6.4%	187,758	-5.1%	127,300	12,602	-13.9%	3,424	-4.5%	
平成25年度	303,580	-8.3%	301,616	-7.9%	175,299	-6.6%	114,195	12,122	-3.8%	1,964	-42.6%	
平成26年度	278,640	-8.2%	276,871	-8.2%	156,466	-10.7%	108,828	11,577	-4.5%	1,769	-9.9%	
平成27年度	265,757	-4.6%	264,031	-4.6%	147,966	-5.4%	104,558	11,507	-0.6%	1,726	-2.4%	
平成28年度	258,059	-2.9%	256,330	-3.0%	142,716	-3.5%	102,883	10,731	-6.7%	1,729	0.2%	
平成29年度	267,738	3.8%	266,087	3.8%	151,668	6.3%	103,434	10,985	2.4%	1,651	-4.5%	
平成30年度	272,564	1.8%	270,900	1.8%	155,061	2.2%	104,995	10,844	-1.3%	1,664	0.8%	
令和元年度	275,948	1.2%	274,171	1.2%	147,187	-5.1%	115,922	11,062	2.0%	1,777	6.8%	
令和2年度	242,686	-12.1%	240,969	1.2%	114,386	-22.3%	116,128	10,455	-5.5%	1,717	-3.4%	

注) 平成25年度以降の本籍等の書換えは、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数

■ 表2 消防設備士免状処理状況の推移

年度	合計	対前年 増減率	免状作成件数						再交付	対前年 増減率	本籍等の 書換え	対前年 増減率
			対前年 増減率	新規	対前年 増減率	写真書換え	対前年 増減率	再交付				
昭和63年度	14,988	—	14,753	—	14,218	—	—	535	—	235	—	
平成1年度	27,231	81.7%	27,092	83.6%	15,232	7.1%	11,062	798	49.2%	139	-40.9%	
平成2年度	31,299	14.9%	31,179	15.1%	15,246	0.1%	15,031	902	13.0%	120	-13.7%	
平成3年度	53,267	70.2%	53,088	70.3%	15,439	1.3%	36,435	1,214	34.6%	179	49.2%	
平成4年度	43,398	-18.5%	43,196	-18.6%	17,386	12.6%	24,585	1,225	0.9%	202	12.8%	
平成5年度	29,578	-31.8%	29,403	-31.9%	19,734	13.5%	8,716	953	-22.2%	175	-13.4%	
平成6年度	28,994	-2.0%	28,760	-2.2%	20,632	4.6%	7,054	1,074	12.7%	234	33.7%	
平成7年度	26,691	-7.9%	26,464	-8.0%	19,479	-5.6%	5,910	1,075	0.1%	227	-3.0%	
平成8年度	24,274	-9.1%	23,971	-9.4%	18,728	-3.9%	4,276	967	-10.0%	303	33.5%	
平成9年度	26,576	9.5%	26,297	9.7%	21,295	13.7%	4,043	959	-0.8%	279	-7.9%	
平成10年度	26,691	0.4%	26,394	0.4%	21,567	1.3%	3,877	950	-0.9%	297	6.5%	
平成11年度	32,256	20.8%	31,920	20.9%	23,105	7.1%	7,819	996	4.8%	336	13.1%	
平成12年度	30,402	-5.7%	30,107	-5.7%	18,881	-18.3%	10,192	1,034	3.8%	295	-12.2%	
平成13年度	37,655	23.9%	37,359	24.1%	20,539	8.8%	15,610	1,210	17.0%	296	0.3%	
平成14年度	37,288	-1.0%	36,947	-1.1%	21,629	5.3%	14,224	1,094	-9.6%	341	15.2%	
平成15年度	37,387	0.3%	37,053	0.3%	23,877	10.4%	12,038	1,138	4.0%	334	-2.1%	
平成16年度	33,025	-11.7%	32,733	-11.7%	20,753	-13.1%	10,823	1,157	1.7%	292	-12.6%	
平成17年度	33,345	1.0%	33,030	0.9%	21,297	2.6%	10,607	1,126	-2.7%	315	7.9%	
平成18年度	31,656	-5.1%	31,325	-5.2%	20,905	-1.8%	9,314	1,106	-1.8%	331	5.1%	
平成19年度	33,142	4.7%	32,854	4.9%	21,705	3.8%	10,029	1,120	1.3%	288	-13.0%	
平成20年度	36,659	10.6%	36,369	10.7%	24,790	14.2%	10,527	1,052	-6.1%	290	0.7%	
平成21年度	40,390	10.2%	40,064	10.2%	28,458	14.8%	10,548	1,058	0.6%	326	12.4%	
平成22年度	40,379	0.0%	40,079	0.0%	27,444	-3.6%	11,557	1,078	1.9%	300	-8.0%	
平成23年度	40,214	-0.4%	39,885	-0.5%	25,586	-6.8%	13,080	1,219	13.1%	329	9.7%	
平成24年度	40,941	1.8%	40,662	1.9%	26,531	3.7%	13,067	1,064	-12.7%	279	-15.2%	
平成25年度	40,723	-0.5%	40,525	-0.3%	27,066	2.0%	12,412	1,047	-1.6%	198	-29.0%	
平成26年度	42,319	3.9%	42,112	3.9%	29,145	7.7%	12,021	946	-9.6%	207	9.0%	
平成27年度	41,011	-3.1%	40,802	-3.1%	27,470	-5.7%	12,317	1,015	7.3%	209	1.0%	
平成28年度	40,365	-1.6%	40,102	-1.7%	27,552	0.3%	11,517	1,033	1.8%	263	25.8%	
平成29年度	41,107	1.8%	40,897	2.0%	28,500	3.4%	11,476	921	-10.8%	210	-20.2%	
平成30年度	41,278	0.4%	41,066	0.4%	28,268	-0.8%	11,857	941	2.2%	212	1.0%	
令和元年度	41,437	0.4%	41,214	3.6%	27,234	-3.7%	13,059	921	-2.1%	223	5.2%	
令和2年度	38,548	-7.0%	38,244	-7.2%	24,524	-10.0%	12,884	836	-9.2%	304	36.3%	

注) 平成25年度以降の本籍等の書換えは、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数



支部の広場

兵庫県支部からお届け

はじめに（兵庫県の概要）

日本列島のほぼ中央に位置する兵庫県。北は日本海、南は瀬戸内海に面し、淡路島を介して太平洋を望む広大な県土には、大都市から多自然地域まで個性豊かな地域が広がっています。

特に、歴史や風土、産業などの違いから、摂津（神戸・阪神）、播磨、但馬、丹波、淡路の個性豊かな5つの地域に分けることができます。神戸、阪神、播磨地域は、県の人口の90%強を占め、鉄鋼、造船、機械などの産業が集積する大都市地域です。一方、但馬、丹波、淡路地域は、美しい山々、海、川など、豊かな自然に囲まれた農林水産業の盛んな地域です。

多様な気候と風土を通して、夏には日本海や瀬戸内海などで海水浴やマリンスポーツが楽しめ、冬には但馬地域などでスキーが楽しめます。また、世界文化遺産に指定されている「姫路城」、日本最古の温泉である有馬温泉や、全国的に有名な城崎温泉、湯村温泉、野球の聖地と称される阪神甲子園球場をはじめ、伝統芸能である淡路人形浄瑠璃、女性ばかりのレビューである宝塚歌劇、灘のけんか祭り、中国の旧正月を祝う南京町の春節祭なども楽しめ、多くの観光客が訪れています。

支部の状況

事務所は、平成29年4月に移転し、現在、JR元町駅から南へ8分の民間ビル(シップ神戸海岸ビル)14階にあります。周辺には、百貨店の大丸神戸店、南京町中華街があります。執務室としては十分な広さが確保できており、快適な環境です。

職員は、平成30年度に1名減となり、現在、支部長、副支部長、職員3名の5名体制です。試験の実施、免状の作成等の業務を5名で分担・協力しながら、効率的に処理していますが、令和2年度は、年間を通じて多忙でした。

県域が広いので受験者の利便性を考え、危険物取扱者試験は、県下7つの会場で同時に行います。その際、試験会場の責任者は、支部職員では足りないので、兵庫県消防課に職員を派遣していただいています。

試験業務について

① 危険物取扱者試験

危険物取扱者試験は年4回、他に、特定試験（高等学校、刑務所、消防学校等で実施）を、令和2年度は13回実施しています。

危険物取扱者試験は1回につき7会場、約150人体制で実施しています。

最近5年間の受験申請者数は、平成28年度は1万5千人台でしたが、29年度、30年度は1万4千人台に減少しました。また、令和元年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、試験の一部が中止になったことにより、1万2千人台になりました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、第1回目の試験で、7会場のうち4会場での試験を中止し、2回目以降も、定員（収容人数）を超えたことから、受付期間中に受付を終了した試験会場もありましたが、それ以外は、懸命に試験会場、試験室の確保等に努めたことにより、受験申請者数は、前年度比で2,855人増（23.6%増）となり、3年前の平成29年度の申請者数を超えました。

令和2年度の受験申請者は、過去3年間の申請者数と比較すると、「甲種」「乙種4類」「乙種5類」で増加しました。また、受験申請者の職業では、「高校生以外の学生、教育・研究機関」「ガソリンスタンド」「危険物の卸売業、小売業」「公務員」で増加しました。

■表1 危険物取扱者試験受験申請者数の推移 (単位：人)

区分	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
一般		12,077	11,456	11,079	9,793	11,751
高校生		3,512	3,308	3,477	2,296	3,193
(高校生割合)		22.5	22.4	23.9	19.0	21.4
合計		15,589	14,764	14,556	12,089	14,944
うち特定試験		779	677	666	352	405

② 消防設備士試験

消防設備士試験は年2回、他に、特定試験（刑務所で実施）を、令和2年度は2回実施しています。

消防設備士試験は1会場、約40人体制で実施しています。

最近5年間の受験申請者数は、3千200人～300人程度です。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、2回とも定員（収容人数）を超えたことから、受付期間中に受付を終了しましたが、受験申請者は、わずかな減少にとどめることができました。

■表2 消防設備士試験受験申請者数の推移 (単位：人)

区分	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
一般		3,286	3,174	3,215	3,402	3,199
学生		55	79	102	86	55
(学生割合)		1.6	2.4	3.1	2.5	1.7
合計		3,341	3,253	3,317	3,488	3,254
うち特定試験		7	10	17	14	17

○ 免状業務について

最近5年間の免状交付件数は、危険物取扱者が9千件程度、消防設備士が1千300件～400件程度です。

令和2年度の危険物取扱者の交付件数の減少は、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度の危険物取扱者試験の一部（3月実施予定）が中止になったことが原因と考えられます。

また、写真の書換えでは、危険物取扱者保安講習会及び消防設備士法定講習会で、受講者に書換えを周知していたでています。

■表3 免状交付件数の推移

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
危険物取扱者	新規交付	5,059	5,230	5,445	4,899	4,256
	写真書換え等	4,432	4,630	4,305	5,154	4,630
	計	9,491	9,860	9,750	10,053	8,886
消防設備士	新規交付	885	804	850	956	994
	写真書換え等	496	520	530	526	500
	計	1,381	1,324	1,380	1,482	1,494
合計	10,872	11,184	11,130	11,535	10,380	

○ 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症の対応では、①試験会場の施設貸出しの中止により、別会場を確保し、②試験室の定員（収容人数）を減らして、試験室を増やし、③試験室が増えることで、試験監督員を増やすなどを行いました。

当支部では、危険物取扱者試験は同時に7会場を実施し、そのうち4会場は各千人前後の受験申請者があります。

対応の一つは、昨年6月の第1回危険物取扱者試験では、新型コロナウイルス感染症の影響により、この4会場の施設の貸出しが中止となり、同規模の別会場を確保することができず、試験を中止することとなりました。しかし、残りの3会場は、うち2会場で同市内の別の施設を借りて、当初予定どおり試験を実施しました。また、貸出中止となった4会場のうち1会場は、当初計画とは別に試験日を設定し、受験者の希望を伺って振替試験を実施しました。

二つは、危険物取扱者試験及び消防設備士試験では、受験申請者数が、新型コロナウイルス感染症対策を取りながら収容できる人員の上限に到達したため、同日の他の試験会場での受験を調整する一方、再受験（当県、他府県）又は手数料還付の手続きを受験者の意向を伺って進めました。

三つは、中止となった試験に受験申請のあった高等学校のうち2校は、学校単位での特定試験に振り替えて実施しました。

○ おわりに

令和3年度においても、新型コロナウイルス感染症の拡大に十分に留意しながら、試験会場の確保や試験の振替等の対応を準備する必要があります。

また、少子化による高校生等の減少、エネルギー需要等の社会情勢の変化に伴う危険物施設の減少、経済・雇用情勢が引き続き厳しい状況にあることなどから、受験者数の減少が今後も続くことが懸念されます。

こうした中で、受験申請者の受験機会を確保できるよう最善の努力を続けることが大切です。

一方で、感染症の拡大によって増える業務を、職員の負担を減らしながら、どのように効率的に処理するかを考えて、運営する必要があります。

この1年も、試行錯誤を重ねながら、前に進める姿勢で取り組んでいきたいと思ひます。

甲種危険物取扱者試験に合格して

1. 危険物取扱者試験を受験したきっかけ

私が危険物取扱者という試験を知ったのは、高校に入学して間もない頃、自分の学科で受験できる資格の説明を受けた時でした。その時、「就職活動を行う際に危険物取扱者の資格を持っているととても有利になる。」と先生が仰っていたのが、印象に残っています。化学工業科では6月に乙種4類を受験することになっており、実際に受験し、合格することができました。そして、この合格をきっかけにして、卒業するまでに甲種を取りたいと強く思うようになりました。

2. 乙種4類合格に向けて

私たちの学科では、入学してすぐに乙種4類の合格に向けて朝課外と夕課外が始まりました。朝課外では、乙種4類についての基礎的な知識を教授して頂いた後に問題を解きました。夕課外では、朝に解いた問題の解答と解説をして頂きました。先生が一つ一つの問題を丁寧に解説して下さいだったのでとてもわかりやすく、しっかりと理解することができました。「法令」の勉強では、覚える内容が多く、何度もテキストを読み込んで、大事な部分には線を引いて重要な語句は必死に覚えました。特に届け出などの提出先は間違えやすく、実際の試験にも出やすいので、覚えておくといいと思います。

「物理・化学」の勉強では、物理変化や化学変化、温度や数量についての計算などがあり、中学生の時に習った範囲と被る内容が多かったため理解しやすく、法令に比べるとかなり勉強しやすかったです。計算のしかたが分からないときは、YouTubeなどに解き方をわかりやすく投稿している方もいるので、参考にするといいと思います。

「性質・消火方法」の勉強では、乙種4類に出てくる物質の性質とそれにあった消火方法を覚える必要があり、とても複雑で覚えるのが大変でした。特に、引火点・発火点・水に溶解するかどうかなど、覚えることが本当に多いので、一度、暗記カードに書いて休み時間などに少しずつ覚えていくのがお勧めです。そして、先生方が作成して下さいました模擬問題を正答率が9割を超えるようになるまで繰り返し解きました。試験当日、会場は本校でしたのであまり不安はありませんでした。また、初見問題は少なく、過去問や模擬問題などの類似問題が多かつ



松岡 英雲 まつおか ひでくも

宮崎県立都城工業高等学校
化学工業科3年

たので、解ける問題から解いていきました。

時間はたくさんあるので見直しは何回もした方がいいと思います。初見問題は解けなくても焦らなくて大丈夫です。ゆっくり自分のペースで解いていくことが大事です。そして、合格発表日、合格者一覧に自分の番号があつてほっとしました。

3. 甲種受験に必要な乙種資格の取得

乙種4類の免状が届いて数日後、乙種1, 3, 5類の受験申請をしました。これらの類は乙種4類とは違って、法令と物理化学が免除されており、それぞれの類の性質について集中して勉強することができました。1, 5類は暗記しなくてはならない物質が多く、長い名前の物質もありました。特に分解温度や色などは細かく分かれていますので覚えるのが大変でした。しかし、物質の特徴をおさえて、似ているものをまとめることで自分なりに覚えることができました。そして、ひと通り性質を覚えただ後、乙種4類と同じように正答率9割を超えるように問題を何度も解きました。間違えた問題や分からなかった問題は、そのときに復習して少し期間を空けて解き直しました。試験当日は、解ける問題から着実に解いていき、どの類も無事合格することができました。

4. 甲種受験について

本学科では、12月に朝と夕方に甲種の課外が行われました。そこで、先生が問題集の問題を一つ一つ解説して下さいました。特に物理化学の計算問題は、解説して頂いてようやく理解できるレベルだったので、本当に助かりました。甲種の試験は法令、物理化学、性質の3つの分野があり、性質の問題は1類から6類までの問題が含まれています。

甲種受験に当たってまず性質の問題をひたすら解きました。今までに一度触れた内容だったので、比較的早く

暗記することができました。勉強したことのない2, 6類の問題は、覚える内容が比較的少なく、意外と簡単でした。しかし、似たような物質が数多くあるので、各類の物質の性質をしっかりと区別して覚えることが大事だと思います。次に法令を勉強しました。甲種の法令は、乙種4類に比べて内容がとても深くなりました。今まで覚えたところをもう一度復習した後、初めて見る内容を覚えました。これをしたことで、新しい知識も今までの知識に結びつけて覚えることができました。そして最後に物理化学の勉強を始めました。物理化学では、新しい公式や構造式、組成式などをとにかく沢山暗記しなければなりません。それに対し問題は10問しか出題されないの、問題を解くときは緊張感を持って解きました。私はこの分野の勉強に一番時間をかけました。理由としては、先ほども書いたとおり、覚える量に対して問題数が本当に少ないからです。性質は20問、法令は15問なので多少余裕がありますが、物理化学は10問なので1つの問題の価値が大幅に上がります。そのため、1問も落とさない気持ちで勉強しようと思い、時間をかけました。

そして2年生の6月に甲種を受験しました。本当は1年生のうちに甲種を取りたかったのですが申請期間が短くて、申請書を出し忘れてしまい、受験することができませんでした。大変悲しく思いました。試験当日は、朝早く起き、今までに間違えた問題や忘れやすいところに目を通していきました。そして試験の時間になり、まず分かる問題を解いていきました。法令と性質は過去問などから多数出ていて比較的簡単でした。しかし、物理化学では分からない問題が3問あり、合っているか分からない問題が2問ありました。合格発表の日、結果を見ると物理化学は60%で、ギリギリ合格することができました。とても嬉しい気持ちになりました。

5. この経験を活かして

私は、危険物取扱者試験を通して、根気強く効率的に何かに取り組むことが、この先とても役に立つと思いました。来年は就職活動も始まるので、甲種合格の自信を糧にして、いい会社に就職できるように頑張りたいです。



学校正面



校訓碑



水あめの製造



水の流量測定

消防庁の通知・通達等

◆令和2年中の危険物に係る事故に関する執務資料の送付について（通知）

消防予第119号 令和3年5月28日

消防庁危険物保安室長

各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あて

要旨

今般、「令和2年中の危険物に係る事故の概要」及び「都道府県別の危険物に係る事故の発生状況」をそれぞれ別添1及び別添2のとおり取りまとめました。また、令和2年中の危険物に係る事故の主なポイント、指導上の留意事項等を下記のとおり取りまとめましたので、執務上の参考として下さい。

各都道府県消防防災主管部長におかれましては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対してもこの旨周知くださいますようお願いいたします。

なお、本通知は消防組織法（昭和22年法律第226号）第37条の規定に基づく助言として発出するものであることを申し添えます。

記

1 令和2年中の危険物に係る事故の主なポイント

(1) 火災事故

ア 火災事故の発生及び被害の状況

前年と比較して危険物施設における火災事故の発生件数は31件減少し、187件となっており、そのうち重大事故は8件発生している。

施設別の火災事故発生件数については、一般取扱所、給油取扱所、製造所の順となっており、この3施設で全体の約96%（179件/187件）を占めている。

また、1万施設当たりの火災事故の発生件数（以下、「火災事故の発生率」という。）の高い危険物施設は、製造所、一般取扱所であり、近年この傾向は変わっていない。

イ 重大事故の発生施設

重大事故の発生施設としては、一般取扱所が最も多く4件、次いで製造所が2件、屋外タンク貯蔵所が1件、給油取扱所が1件の順となっている。

ウ 重大事故における深刻度評価指標

深刻度評価指標別に各重大事故をみると、収束時間指標が重大事故要件に達しているものが5件、人的被害指標が2件、影響範囲指標が1件となっている（各指標の件数は、重大事故の要件に達しているものを全て計上している。）。

エ 出火の原因に関係した物質

火災事故のうち、危険物が出火原因物質となる火災事故が約47%（88件/187件）を占めている。このうち、第4類の危険物によるものが約93%（82件/88件）を占めており、品名別にみると、第4類第1石油類が約41%（34件/82件）と最も高い割合を占めている。

オ 火災事故の発生原因及び着火原因

火災事故の発生原因では、人的要因が約57%（106件/187件）を占めている。このうち、操作確認不十分によるものが約34%（36件/106件）を占めている。主な着火原因では、静電気火花が約17%（31件/187件）と最も高く、次いで過熱着火が約16%（29件/187件）の割合を占めている。

(2) 流出事故

ア 流出事故の発生及び被害の状況

前年と比較して危険物施設における流出事故の発生件数は5件減少して、375件となっており、そのうち重大事故は63件発生している。

施設別の流出事故件数については、一般取扱所、屋外タンク貯蔵所、給油取扱所の順となっており、この3施設で約60%（224件/375件）を占めている。

1万施設当たりの流出事故の発生件数（以下、「流出事故の発生率」という。）の高い危険物施設は、移送取扱所、製造所、一般取扱所であり、近年この傾向は変わっていない。

イ 重大事故の発生施設

重大事故の発生施設としては、移動タンク貯蔵所が最も多く16件、次いで一般取扱所が

14件、屋外タンク貯蔵所が12件の順となっている。

ウ 重大事故における深刻度評価指標

深刻度評価指標別に各重大事故をみると、流出範囲指標が重大事故要件に達しているものが55件、流出量指標が8件、人的被害指標は0件であった（各指標の件数は、重大事故の要件に達しているものを全て計上している。）。

エ 流出した危険物

流出事故において流出した危険物の種類は、第4類の危険物が約99%（370件/375件）を占めており、このうち第4類第3石油類が約33%（122件/370件）と最も高い割合を占めている。

オ 流出事故の発生原因

流出事故の発生原因は、物的要因が約53%（199件/375件）を占めている。このうち、腐食疲労等劣化によるものが約65%（129件/199件）を占めている。腐食疲労等劣化による流出事故が多い施設は、屋外タンク貯蔵所、一般取扱所、地下タンク貯蔵所の順となっている。

また、約39%（146件/375件）を占める人的要因のうち、操作確認不十分によるものが約38%（56件/146件）を占めている。

2 指導上の留意事項

火災事故の発生原因としては、人的要因である操作確認不十分や維持管理不十分、操作未実施が多く、着火原因では、静電気火花や過熱着火が多い。次に、流出事故の発生原因としては、物的要因である腐食疲労等劣化が最も多く、次いで人的要因である操作確認不十分によるものが多い。

火災事故及び流出事故のいずれの場合においても、人的要因に対する対策としては予防規程等を活用した保安教育の徹底、物的要因の対策としては施設及び設備等の経年劣化も踏まえた点検、維持管理の徹底について、あらゆる機会を活用し指導されたい。

また、危険物に係る事業者団体、消防関係機関等により策定された「令和3年度危険物等事故防止対策実施要領」と別添1及び別添2の統計データを参考とし、都道府県別の事故発生状況や危険物施設の態様を踏まえた事故防止対策を実施していくことが必要である。特に、令和2年中も含め近年の事故件数や事故発生率が大きく増減したものについては、その原因や再発防止について検討されたい。

3 風水害対策の留意事項

梅雨期や台風期を迎えるに当たり、「危険物施設の風水害対策ガイドラインについて」（令和2年3月27日付け消防危第86号・消防災第55号）及び「危険物施設の風水害対策の一層の推進について」（令和3年3月30日付け消防危第49号・消防災第41号）に示す危険物施設の風水害対策ガイドラインにおける各事項を確認の上、事業所の実情に応じて必要な対策を講ずるよう指導されたい。

4 令和2年中の危険物施設における火災事故及び流出事故の代表的な事例について

令和2年中の危険物施設における火災事故及び流出事故の中から、重大事故を中心に15件の事故事例について、事故概要、事業所における事故を踏まえた対策と効果、及び事故事例から得られる事故防止対策上のポイント等を別添3のとおりとりまとめたことから、事業所における従業員への保安教育等に活用されたい。

別添1及び別添2略

※ 全文については、消防庁ホームページに掲載されておりますので参照ください。
<http://www.fdma.go.jp/>

業務報告

4月の試験実施結果

■危険物取扱者試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
甲種	611	275	45.0
乙種第1類	195	134	68.7
乙種第2類	227	184	81.1
乙種第3類	277	202	72.9
乙種第4類	5,259	2,326	44.2
乙種第5類	251	179	71.3
乙種第6類	255	191	74.9
乙種計	6,464	3,216	49.8
丙種	221	127	57.5
合計	7,296	3,618	49.6

危険物取扱者試験実施支部等
青森、東京、神奈川、石川、愛知、大阪

■消防設備士試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
甲種特類	0	0	0.0
甲種第1類	0	0	0.0
甲種第2類	0	0	0.0
甲種第3類	0	0	0.0
甲種第4類	112	60	53.6
甲種第5類	0	0	0.0
甲種計	112	60	53.6
乙種第1類	0	0	0.0
乙種第2類	0	0	0.0
乙種第3類	0	0	0.0
乙種第4類	0	0	0.0
乙種第5類	0	0	0.0
乙種第6類	680	383	56.3
乙種第7類	0	0	0.0
乙種計	680	383	56.3
合計	792	443	55.9

消防設備士試験実施支部等
東京

4月中の免状作成状況

(単位: 件)

	危険物取扱者免状		消防設備士免状		合計	
		本年度累計		本年度累計		本年度累計
新規免状交付	20,781	20,781	5,662	5,662	26,443	26,443
本籍等の書換え	154	154	24	24	178	178
写真書換え	8,992	8,992	1,012	1,012	10,004	10,004
再交付	941	941	70	70	1,011	1,011
計	30,868	30,868	6,768	6,768	37,636	37,636

※ 免状交付申請等の受付件数を計上しています。

※ 本籍等の書換えについては、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数を計上しています。

5月の試験実施結果

■危険物取扱者試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
甲種	381	164	43.0
乙種第1類	301	191	63.5
乙種第2類	268	187	69.8
乙種第3類	359	260	72.4
乙種第4類	6,061	2,648	43.7
乙種第5類	289	207	71.6
乙種第6類	300	221	73.7
乙種計	7,578	3,714	49.0
丙種	416	243	58.4
合計	8,375	4,121	49.2

□危険物取扱者試験実施支部等

北海道、秋田、埼玉、東京、神奈川、石川、岐阜、京都、大阪、兵庫、奈良、佐賀

■消防設備士試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
甲種特類	99	40	40.4
甲種第1類	664	245	36.9
甲種第2類	352	150	42.6
甲種第3類	323	152	47.1
甲種第4類	671	280	41.7
甲種第5類	363	163	44.9
甲種計	2,472	1,030	41.7
乙種第1類	69	24	34.8
乙種第2類	23	4	17.4
乙種第3類	32	22	68.8
乙種第4類	726	316	43.5
乙種第5類	38	12	31.6
乙種第6類	834	394	47.2
乙種第7類	527	338	64.1
乙種計	2,249	1,110	49.4
合計	4,721	2,140	45.3

□消防設備士試験実施支部等

北海道、山形、東京、愛知、徳島

5月中の免状作成状況

(単位: 件)

	危険物取扱者免状		消防設備士免状		合計	
		本年度累計		本年度累計		本年度累計
新規免状交付	7,523	28,304	2,785	8,447	10,308	36,751
本籍等の書換え	171	325	24	48	195	373
写真書換え	8,617	17,609	826	1,838	9,443	19,447
再交付	705	1,646	36	106	741	1,752
計	17,016	47,884	3,671	10,439	20,687	58,323

※ 免状交付申請等の受付件数を計上しています。

※ 本籍等の書換えについては、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数を計上しています。

危険物取扱者試験日程（願書受付が8・9月にかかる日程分を抜粋）
 ※試験日など変更になることがありますので、ホームページ等で確認して下さい。

支 部 名	試験日		受付期間				甲種	乙種						丙種
			電子申請		書面申請			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	
	月 日	曜日	開始日	締切日	開始日	締切日								
北海道	9月19日	日	8月10日	8月17日	8月13日	8月20日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月17日	日	8月27日	9月 3日	8月30日	9月 6日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
青 森	11月 6日	土	9月14日	10月 1日	9月17日	10月 4日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月 7日	日	9月14日	10月 1日	9月17日	10月 4日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月13日	土	9月14日	10月 1日	9月17日	10月 4日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月14日	日	9月14日	10月 1日	9月17日	10月 4日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月20日	土	9月14日	10月 1日	9月17日	10月 4日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月21日	日	9月14日	10月 1日	9月17日	10月 4日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月27日	土	9月14日	10月 1日	9月17日	10月 4日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
岩 手	10月 2日	土	8月16日	8月23日	8月19日	8月26日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月 9日	土	8月16日	8月23日	8月19日	8月26日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月16日	土	8月16日	8月23日	8月19日	8月26日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
宮 城	9月12日	日	7月26日	8月 3日	7月29日	8月 6日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月 3日	日	8月17日	9月 3日	8月20日	9月 6日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
秋 田	10月10日	日	8月17日	9月 3日	8月20日	9月 6日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月 2日	土	8月20日	8月30日	8月23日	9月 2日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
山 形	10月 9日	土	8月27日	9月 6日	8月30日	9月 9日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月23日	土	9月 3日	9月13日	9月 6日	9月16日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月13日	土	9月24日	10月 4日	9月27日	10月 7日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月23日	土	8月15日	8月24日	8月18日	8月27日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
福 島	10月24日	日	8月15日	8月24日	8月18日	8月27日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月 7日	日	8月15日	8月24日	8月18日	8月27日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月27日	土	9月26日	10月 5日	9月29日	10月 8日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	12月 4日	土	9月26日	10月 5日	9月29日	10月 8日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	12月19日	日	9月26日	10月 5日	9月29日	10月 8日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
栃 木	11月 7日	日	9月 3日	9月14日	9月 6日	9月17日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
群 馬	11月 7日	日	9月14日	9月28日	9月17日	10月 1日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月14日	日	9月14日	9月28日	9月17日	10月 1日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月21日	日	9月14日	9月28日	9月17日	10月 1日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
千 葉	11月14日	日	9月 7日	9月27日	9月10日	9月30日					乙4			
	11月21日	日	9月21日	10月 1日	9月24日	10月 4日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月27日	土	9月21日	10月 1日	9月24日	10月 4日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月28日	日	9月21日	10月 1日	9月24日	10月 4日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	12月 5日	日	9月28日	10月12日	10月 1日	10月15日	甲種							丙種
東 京	9月18日	土	7月23日	8月 3日	7月26日	8月 6日					乙4			
	9月26日	日	7月23日	8月 3日	7月26日	8月 6日					乙4			
	10月 2日	土	8月 9日	8月20日	8月12日	8月23日					乙4			
	10月 9日	土	8月16日	8月27日	8月19日	8月30日		乙1	乙2	乙3		乙5	乙6	丙種
	10月17日	日	8月16日	8月27日	8月19日	8月30日					乙4			
	10月23日	土	8月27日	9月 7日	8月30日	9月10日					乙4			
	10月29日	金	9月 3日	9月14日	9月 6日	9月17日					乙4			
	11月 3日	水	9月 3日	9月14日	9月 6日	9月17日	甲種							
	11月 6日	土	9月13日	9月24日	9月16日	9月27日					乙4			
11月20日	土	9月27日	10月 8日	9月30日	10月11日					乙4				
新 潟	9月 5日	日	7月13日	7月30日	7月16日	8月 2日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
富 山	10月10日	日	8月22日	8月31日	8月25日	9月 3日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月16日	土	8月22日	8月31日	8月25日	9月 3日	甲種	乙1	乙2	乙3		乙5	乙6	丙種
	10月17日	日	8月22日	8月31日	8月25日	9月 3日					乙4			
	10月23日	土	8月22日	8月31日	8月25日	9月 3日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
福 井	10月17日	日	9月 3日	9月10日	9月 6日	9月13日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月24日	日	9月 3日	9月10日	9月 6日	9月13日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
山 梨	10月17日	日	8月17日	8月24日	8月20日	8月27日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月23日	土	8月17日	8月24日	8月20日	8月27日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
長 野	10月 3日	日	8月14日	8月27日	8月17日	8月30日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月17日	日	8月14日	8月27日	8月17日	8月30日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月24日	日	8月14日	8月27日	8月17日	8月30日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月 7日	日	8月14日	8月27日	8月17日	8月30日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
岐 阜	10月10日	日	8月31日	9月10日	9月 3日	9月13日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月24日	日	8月31日	9月10日	9月 3日	9月13日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
静 岡	11月 7日	日	8月27日	9月 6日	8月30日	9月 9日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月14日	日	8月27日	9月 6日	8月30日	9月 9日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
愛 知	9月26日	日	8月21日	8月30日	8月24日	9月 2日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月 7日	日	9月25日	10月 4日	9月28日	10月 7日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月13日	土	9月25日	10月 4日	9月28日	10月 7日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
三 重	11月13日	土	9月10日	9月21日	9月13日	9月24日	甲種				乙4			丙種
	11月14日	日	9月10日	9月21日	9月13日	9月24日		乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月20日	土	9月10日	9月21日	9月13日	9月24日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
滋 賀	10月16日	土	8月27日	8月31日	8月30日	9月 3日					乙4			
	10月17日	日	8月27日	8月31日	8月30日	9月 3日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種

滋賀	10月18日	月	8月27日	8月31日	8月30日	9月3日					Z4			
	10月19日	火	8月27日	8月31日	8月30日	9月3日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
	10月20日	水	8月27日	8月31日	8月30日	9月3日					Z4			
京都	10月24日	日	8月27日	9月3日	8月30日	9月6日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
	10月30日	土	8月27日	9月3日	8月30日	9月6日					Z4			
	10月31日	日	8月27日	9月3日	8月30日	9月6日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
大阪	10月3日	日	8月23日	8月30日	8月26日	9月2日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
兵庫	9月26日	日	8月6日	8月16日	8月9日	8月19日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
和歌山	10月17日	日	8月21日	8月28日	8月24日	8月31日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
	10月24日	日	8月21日	8月28日	8月24日	8月31日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
鳥取	10月17日	日	8月10日	8月24日	8月13日	8月27日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
	10月24日	日	8月10日	8月24日	8月13日	8月27日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
島根	11月7日	日	8月27日	9月10日	8月30日	9月13日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
	11月14日	日	8月27日	9月10日	8月30日	9月13日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
岡山	10月24日	日	8月20日	8月30日	8月23日	9月2日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
広島	11月14日	日	9月28日	10月5日	10月1日	10月8日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
山口	11月20日	土	8月30日	9月13日	9月2日	9月16日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
	11月21日	日	8月30日	9月13日	9月2日	9月16日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
香川	11月3日	水	9月18日	9月28日	9月21日	10月1日					Z4			
	11月7日	日	9月18日	9月28日	9月21日	10月1日	甲種	Z1	Z2	Z3		Z5	Z6	丙種
愛媛	10月24日	日	8月24日	9月3日	8月27日	9月6日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
高知	10月23日	土	8月31日	9月13日	9月3日	9月16日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
	10月31日	日	8月31日	9月13日	9月3日	9月16日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
佐賀	11月21日	日	9月24日	10月5日	9月27日	10月8日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
長崎	11月20日	土	9月3日	9月14日	9月6日	9月17日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
熊本	11月7日	日	9月6日	9月13日	9月9日	9月16日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
大分	11月21日	日	9月25日	10月4日	9月28日	10月7日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
宮崎	11月21日	日	9月3日	9月14日	9月6日	9月17日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
鹿児島	11月6日	土	9月14日	9月28日	9月17日	10月1日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種

消防設備士試験日程(願書受付が8・9月にかかる日程分を抜粋)
 ※試験日など変更になることがありますので、ホームページ等で確認して下さい。

支部名	試験日		受付期間				甲種					乙種							
			電子申請		書面申請		特類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類
	月日	曜日	開始日	締切日	開始日	締切日													
北海道	10月17日	日	8月27日	9月3日	8月30日	9月6日		甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7
青森	10月17日	日	8月27日	9月13日	8月30日	9月16日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7
	10月23日	土	8月27日	9月13日	8月30日	9月16日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7
	11月3日	水	8月27日	9月13日	8月30日	9月16日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7
宮城	10月10日	日	8月23日	8月31日	8月26日	9月3日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7
秋田	11月7日	日	9月21日	10月5日	9月24日	10月8日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7
山形	9月11日	土	7月23日	8月2日	7月26日	8月5日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7
	9月20日	月	7月23日	8月3日	7月26日	8月6日		甲1											
	9月25日	土	7月23日	8月3日	7月26日	8月6日					甲4								
	10月3日	日	8月9日	8月20日	8月12日	8月23日												Z6	
	10月16日	土	8月16日	8月27日	8月19日	8月30日									Z4				Z7
	10月24日	日	8月27日	9月7日	8月30日	9月10日		甲1											
東京	10月30日	土	9月3日	9月14日	9月6日	9月17日	特類		甲2	甲3		甲5							
	11月7日	日	9月13日	9月24日	9月16日	9月27日					甲4								
神奈川	10月16日	土	8月23日	9月3日	8月26日	9月6日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7
新潟	10月10日	日	8月17日	9月3日	8月20日	9月6日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7
石川	11月6日	土	9月13日	9月21日	9月16日	9月24日												Z6	
	11月7日	日	9月13日	9月21日	9月16日	9月24日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5		Z7
京都	11月21日	日	9月28日	10月5日	10月1日	10月8日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7
奈良	9月19日	日	8月7日	8月14日	8月10日	8月17日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7
鳥取	11月21日	日	9月14日	9月28日	9月17日	10月1日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7
徳島	10月16日	土	8月30日	9月6日	9月2日	9月9日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7
沖縄	10月31日	日	9月21日	9月28日	9月24日	10月1日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7

Voice...

編集後記

2021 July

季節は夏、7月入り暑い日が続くようになりました。
 新型コロナウイルス感染症はワクチン接種も進んできていますが、3密の回避、マスクの着用、消毒などの対策がまだまだ必要です。また、この時季は熱中症も心配されるところです。
 十分な栄養摂取と睡眠、適度な運動など体調管理に気を付けましょう。
 今月号は、令和2年度の事業報告、試験の実施状況、免状の作成状況等を業務情報として特集しました。お役に立てていただければ幸いです。

継続は力なり

人々の命と社会を守るために！キャリアの力

都道府県
後援：消防庁

「過去から未来へ
新たなスタート。」



体操選手
内村 航平

10年目 危険物取扱者 消防設備士 免状の更新

免状は交付日から10年が経過する前に写真書換えが必要です。

平成23年以前の免状をお持ちの方は最寄りの申請窓口で速やかに手続きを行ってください。

消防試験研究センターだより

Voice...

vol.386 令和3年7月発行

編集・発行

一般財団法人消防試験研究センター

〒100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番2号 大同生命霞が関ビル19階

TEL.050(3803)9279(企画研究部) / FAX.03(5511)2751

ホームページ <https://www.shoubo-shiken.or.jp/>

モバイルサイト <https://www.shoubo-shiken.or.jp/m/>

